

令和 6 年度

北海道立旭川美術館

ANNUAL REPORT OF HOKKAIDO ASAHIKAWA MUSEUM OF ART

April, 2024 – March, 2025

年報

目次

1 運営基本方針・計画	1
2 事業実施状況	
2-A 収集・保管	
2-A-1 美術作品の収集、作品収集状況	2
2-A-2 美術作品の修復・貸出・特別観覧	3
2-B 展覧会	
2-B-1 特別展・所蔵品展一覧	4
2-B-2 特別展・所蔵品展観覧者数	5
アートのなかの朝・昼・夜—時間と光のうつろい—	6
高橋由一、岸田劉生、鴨居玲…日本の洋画 150 年の輝き	10
生誕 90 年記念 藤戸竹喜の世界展	16
みんなの推し☆コレクション～オススメの作品を教えてください～	22
動く？飛び出す！不思議な絵画 オプ・アート展	25
夢みるアート イマジネーションとファンタジー	27
草木と花を描く	29
旭美の写実(リアル)	31
追悼 彫刻家・板津邦夫	33
2-C 教育普及活動	
2-C-1 教育普及活動一覧	35
2-C-2 資料・情報関係	39
2-D 調査研究	41
3 評価	42
4 令和 6 年度予算・名簿	47
5 沿革	48
6 建築設備概要	49
7 利用案内	50

1 運営基本方針・計画

【目的】道北地域における文化活動の拠点として、幅広く美術文化を紹介・普及することにより、地域文化に潤いと深みをもたらし、文化創造への活力を高めます。			
基本的運営方針	取組項目	事業実施計画	
A 優れた作品の収集と適切な保管	優れたコレクションの形成	<ul style="list-style-type: none"> ○第4期北海道立美術館等作品収蔵計画に基づき収集に取り組むものとし、作家や所蔵家と積極的に交流し、作品収集の機会を増やす。 ○文献調査や地域での情報収集に努め、収集計画の充実を図る。 	
	所蔵作品の適切な保管	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に作品の状態を把握し、作品の保存状況に合わせた適切な温度や湿度管理、虫害予防対策など収蔵庫の環境整備を行う。 ○修復候補作品一覧を完成させるとともに、長期的な修復計画の作成を検討する。 	
	コレクションの効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ○美術館のほか様々な分野の施設との連携により、所蔵作品の活用機会を増やすとともに変化に富んだ展示方法を検討する。 	
B 多彩で特色ある展示活動の充実	多様なニーズに応える展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○木の造形作品及び道北地方や北海道にゆかりのある作家・作品について調査研究し、その研究結果に基づいた企画展を開催するとともに、所蔵する木彫作品を紹介するなど、その魅力の普及に取り組む。 ○多様なニーズに対応するため、様々な時代や地域の優れた作品を対象とした展覧会を開催する。 ○当館に愛着を持っていたくよう道民参型の展示活動を行う。 	
	観覧者拡充のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○若年層が美術館に興味を持つよう展覧会に関連した子ども向けワークショップを実施する。 ○SNSを活用し、幅広い世代への広報活動に努める。 	
	館外における鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い地域における当館所蔵品の鑑賞機会を増やすため、積極的に他美術館への所蔵品の貸出を行う。 ○オンラインアート教室のさらなる魅力化をはじめ、多くの学校が参加できる工夫を検討する。 	
C 学習の場と情報提供の充実	教育普及活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教育効果を高めるため、展覧会と関連したプログラムを実施する。 ○幅広い世代への普及に取り組み、特に高齢者向け教育普及プログラムを研究・企画する。 	
	情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○展覧会と関連した書籍の配架方法を工夫するなど図書コーナーの充実を図る。 ○様々な広報媒体を活用し、情報発信に努める。 ○投稿回数を増やすなど、SNSを積極的に活用する。 	
D 活動の基礎となる調査・研究の推進	調査・研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○館報の内容充実や図書資料の充実に取り組む。 ○学芸員の資質向上のため、研修機会の拡充に努める。 ○所蔵作品の研究結果を生かした展覧会を実施する。 	
E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上	多様な機関との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> ○市民実行委員会やマスコミ等との展覧会や関連事業の開催について、内容及び広報の充実に取り組む。 ○来館者サービスをより一層向上させるため、美術館ボランティアとの連携をさらに深める。 ○旭川リンク・リンク・ミュージアムなど、地域の美術館や博物館などを結ぶ連携制度等を継続する。 ○年間を通じ「旭川市中央図書館・北海道立旭川美術館コラボレーション2024」を実施する。 	
	学校等の教育機関との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度から実施しているおといねっぷ美術工芸高校卒業制作発表における講評に加え、旭川市立図書館との連携の一環として、同校生徒の作品を図書館へ展示する際の展示方法の助言など美術活動への支援を行う。 ○オンラインアート教室の内容の充実を図るとともに、多くの学校が参加できる工夫を検討する。 ○キャンパス・パートナーシップの対象となる学校に向け制度を改めて周知する。 ○展覧会ごとに教員を対象とした指導者研修を実施する。 	
F 安全で快適な滞在環境の提供	施設の適切な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ○日常点検や巡回などを行い、施設の状況を常に確認・把握する。 ○設備等の故障等が生じた場合、本庁担当課と速やかな修繕に向け協議する。 	
	施設の快適性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○喫茶、ミュージアムショップを運営するボランティア団体と連携を密にし協力することで、質の高い利用者サービス提供する。 ○館内スタッフが来館者アンケートを共有するとともに、随時、反省会を実施する。 	

2 事業実施状況

2-A 収集・保管

2-A-1 美術作品の収集、作品収集状況

・分野別

分野	作 品				資 料			
	前年度末 作品収蔵数	令和6年度 購入	令和6年度 受贈	作品総数	前年度末	令和6年度	令和6年度	作品総数
					作品収蔵数	購入	受贈	
油彩	175点 (23.1%)		1点	176点 (23.2%)	1点 (0.8%)			1点 (0.8%)
日本画	18 (2.4%)			18 (2.4%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)
水彩・素描	174 (23.0%)			174 (22.9%)	111 (87.4%)			111 (87.4%)
版画	141 (18.6%)			141 (18.6%)	4 (3.1%)			4 (3.1%)
彫刻	143 (18.9%)			143 (18.8%)	1 (0.8%)			1 (0.8%)
工芸	105 (13.9%)		1	106 (13.9%)	1 (0.8%)			1 (0.8%)
写真	2 (0.3%)			2 (0.3%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)
デザイン	0 (0.0%)			0 (0.0%)	3 (2.4%)			3 (2.4%)
その他	0 (0.0%)			0 (0.0%)	6 (4.7%)			6 (4.7%)
合計	758 (100%)	0	2	760 (100%)	127 (100%)	0	0	127 (100%)

(その他…書、制作ノート等を含む)

・特色別

区分	作 品			
	前年度末 作品収蔵数	令和6年度 購入	令和6年度 受贈	作品総数
				作品収蔵数
木の造形	267点		1点	268点
道北の美術	496点		2点	498点
北海道の美術	122点			122点
国内・国外の 美術	148点			148点

*複数の特色にまたがる作品があるため、特色区分の総数は収蔵作品数と一致しない。

新収蔵作品目録

[受贈]

番号	分類	作品名	作家名	制作年	材質形状・規格		寄贈者	備考
1	油彩	見舞う	高橋 三加子	1975 (昭和50)	材質形状	油彩、 キャンバス	高橋 三加子	道北の美術
			生年 1943 (昭和18)		規 格	縦130.3×横 193.9cm		
2	工芸	君の椅子 2024	デザイン：高橋 三太郎 制作：(株)匠工芸、東10号工房	2024 (令和6)	材質形状	ミズナラ	君の椅子プロジェ クト 代表 磯田憲一	木の造形 道北の美術
			生年/設立年 高橋三太郎：1949(昭和24) (株)匠工房：1979(昭和54) 東10号工房：2019(平成31)		規 格	幅32.0×奥行 26.0×高さ 37.5m		

2-A-2 美術作品の修復・貸出

(1) 修復

分類	作品名	作家名	制作年	材質	規格	修復日	修復者	修復内容
工芸	神代櫻彫文飾棚	黒田 辰秋	1974 (昭和49)	ケヤキ (埋れ木)	高さ91.0× 幅148.0× 奥行き44.0	11月2日	宮本 貞治	・扉外側の亀裂等破損箇所の修復 ・扉蝶番の調整 ・背面裏板の隙間埋め

(2) 貸出

分類	作品名	作家名	制作年	材質	規格	展覧会名	貸出先	その他
工芸	神代櫻彫文飾棚	黒田 辰秋	1974 (昭和49)	ケヤキ (埋れ木)	高さ91.0× 幅148.0× 奥行き44.0	「生誕120 年 人間国 宝・黒田辰 秋」	京都国立近代 美術館、豊田 市美術館	貸出期間：令和6年9月10日～令和 7年7月4日 京都会場：令和6年12月17日～ 令和7年3月2日 豊田会場：令和7年3月14日から 令和7年5月18日

2-B 展覧会

2-B-1 特別展・所蔵品展等一覧

	展覧会名	開催期間	開催日数	内容	主催	会場
特別展	265 アートのなかの朝・昼・夜 —時間と光のうつろい—	4月27日(土) ~6月23日(日)	50日間	当館コレクションのなかから、時間や光のうつろいをモチーフとした作品を中心 に「朝」「昼」そして「夜」へとうつりゆく構 成で紹介した。	北海道立旭川美術館 北海道新聞旭川支社	第1展示室
	266 高橋由一、岸田劉生、鴨居玲… 日本の洋画 150年の輝き	7月6日(土) ~9月1日(日)	50日間	笠間日動美術館コレクションのなか から、近現代日本美術史を彩る巨匠 たち35名の作品を一堂に展覧し た。また、特別に岸田劉生特集コー ナーを設け、好評を博した。	北海道立旭川美術館 同展旭川市民実行委員会 北海道新聞旭川支社	第1展示室
	267 生誕90周年記念 藤戸竹喜の世界展	9月14日(土)~ 11月17日(日)	57日間	藤戸竹喜の仕事の全容を、初期から 晩年に至る代表作約90点によって紹 介するとともに、藤戸竹喜が受け継 ぎ、収集したアイヌコレクションを あわせて展覧した。	北海道立旭川美術館 北海道新聞社、 同展実行委員会	第1展示室
	268 みんなの推し☆コレクション ～オススメの所蔵品を教えてください～	12月13日(火)~ 12月25日(水)	20日間	当館コレクションのなかから「推し」、つ まり「好き」あるいは「オススメの」作品を 募り、応募の多かった作品や、コメント に熱い思いが表れている作品21点を紹 介した。	北海道立旭川美術館	第1展示室
	269 動く？飛び出す！不思議な絵画 オブ・アート展	1月11日(土) ~3月16日(日)	56日間	北海道立近代美術館コレクションから、 ジョゼフ・アルバースをはじめ、ヴィクト ル・ヴァザルリやプリジット・ライリーら代 表的なオブ・アートの作品を通して、錯 視の世界を展覧した。	北海道立旭川美術館 北海道新聞旭川支社	第1展示室

	101 夢みるアート イマジネーションとファンタジー	4月27日(土) ~6月23日(日)	50日間	土屋仁応《麒麟》をはじめ、鑑賞者に豊 かな想像力を喚起させる、幻想的な作 品を紹介した。	北海道立旭川美術館	第2展示室
所 藏 品 展	102 草木と花を描く	7月6日(土) ~9月1日(日)	50日間	森林の木々や草むら、さまざま花を描 いた絵画や、木の芽や葉を表した工芸 作品を展覧した。	北海道立旭川美術館	第2展示室
	103 旭美の写実 <small>リアル</small>	9月14日(土) ~11月17日(日)	57日間	写実的な油彩画・水彩画・彫刻・工芸を 展覧。同時展示の「川崎映~北のいき ものを描く~」では、色鉛筆で精緻に描 かれた動植物画を紹介した。	北海道立旭川美術館	第2展示室
	104 追悼 彫刻家・板津邦夫	12月13日(火) ~3月16日(日)	76日間	2023年にこの世を去った彫刻家・板津 邦夫の追悼展。当館の所蔵する初期か ら2000年代の作品を通して作家の創 作の軌跡を振り返った。	北海道立旭川美術館	第2展示室

(1) 特別展

展覧会名		観覧料金				観覧者総人数	会期
		区分	一般	高大	小中		
特別展	アートのなかの朝・昼・夜	個人	510	300	無料	3,199	4/27～6/23 50日間
		団体	400	250			
	日本の洋画 150年の輝き	個人	1,000	600	無料	7,918	7/6～9/1 50日間
		団体	800	400			
	藤戸竹喜の世界展	個人	1,300	800	500 小学生無料	9,025	9/14～11/17 57日間
		団体	1,100	600			
	みんなの推し☆コレクション	個人	260	150	無料	724	12/3～12/25 20日間
		団体	210	110			
	オプ・アート展	個人	800	500	300	3,904	1/11～3/16 56日間
		団体	600	400			
特別展計						24,770	

(2) 所蔵品展

展覧会名		観覧料金				観覧者総人数	会期
		区分	一般	高大	小中		
夢みるアート	草木と花を描く	個人	260	150	無料	14,957	4/27～6/23 50日間
							7/6～9/1 50日間
旭美の写実	追悼 彫刻家・板津邦夫	団体	210	110			9/14～11/17 57日間
							12/3～3/16 76日間
常設展計						14,957	

アートのなかの朝・昼・夜—時間と光のうつろい—

Art Expressing Morning, Day, and Night: Passage of Time and Changes in Light

2024/4/27(sat)~6/23(sun)

時間のうつろい～朝～

作品名 Artist	作品名 Title	制作年 Creation Year	技法、材質 Technique and Materials
1 丹野 則雄 TANNO Norio	葉一ひこばえ Sprout Boxes	1992(平成4)	(右) 黒柿、ローズウッド、メープル、ウレタンオイル塗装／(左) カリン、パドック、メープル、ウレタンオイル塗装 black persimmon, rosewood, maple, urethanoil/chinese quince, paddock, maple, urethanoil
2 朝倉 力男 ASAOKURA Rikio	河畔の嚴冬 Riverside in the Dead of Winter	1959(昭和34)	油彩、キャンバス oil, canvas
3 朝倉 力男 ASAOKURA Rikio	渓谷の冬 Winter at the Ravine	1971(昭和46)	油彩、キャンバス oil, canvas
4 米坂 ヒデノリ YONESAKA Hidenori	旅立ち Departure	1976(昭和51)	オンコ、カツラ、シナ japanese yew, katsura, japanese linden
5 佐藤 進 SATO Susumu	松蟬の頃 The Season When Cicadas Begin Singing	1986(昭和61)	水彩、紙 watercolor, paper
6 佐藤 進 SATO Susumu	丘 Hill	1981(昭和56)	水彩、紙 watercolor, paper
7 佐藤 道雄 SATO Michio	早春 Early Spring	1990(平成2)	油彩、キャンバス oil, canvas
8 佐藤 道雄 SATO Michio	夏樹 Trees in Summer	1983(昭和58)	油彩、キャンバス oil, canvas
9 福井 寿人 FUKUI Sawato	白い風 White Wind	2009(平成21)	紙本彩色 color, paper
10 一ノ戸 ヨシノリ ICHINOHE Yoshinori	朝の食卓 Morning Table	1971(昭和46) 1994(平成6)再制作	人形、コーヒーカップ、瓶、鏡、テーブル他 dolls, cups, bottles, mirrors, tables etc.

うつろい～色と光～

11 東谷 武美 AZUMAYA Takemi	日蝕M Solar Eclipse M	1984(昭和59)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
12 東谷 武美 AZUMAYA Takemi	日蝕F Solar Eclipse F	1983(昭和58)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
13 東谷 武美 AZUMAYA Takemi	日蝕G Solar Eclipse G	1984(昭和59)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
14 百瀬 寿 MOMOSE Hisashi	Square – between C and M	1983(昭和58)	ネコタイプ、キャンバス necotype, canvas
15 百瀬 寿 MOMOSE Hisashi	Square – between Pink and Yellow	1981(昭和56)	アクリル絵具、エアーブラシ、パネル acrylic, airbrush, panel
16 百瀬 寿 MOMOSE Hisashi	Square – Pink to Yellow	1981(昭和56)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
17 百瀬 寿 MOMOSE Hisashi	Square – Reverse Clear to Metallic Yellow	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper

時間のうつろい～昼、のち夕方～

18	高橋 北修 TAKAHASHI Hokushu	春暖 Spring Time	1941(昭和16)	油彩、キャンバス oil, canvas
19	一木 万寿三 ICHIKI Masumi	晩夏 Late summer	1937(昭和12)	油彩、キャンバス oil, canvas
20	武田 篤芳 TAKEDA Noriyoshi	黄昏のパリ Paris in the evening	1963(昭和38)	油彩、キャンバス oil, canvas
21	遠藤 彰子 ENDO Akiko	みち 岐路 Crossroads	1987(昭和62)	油彩、キャンバス oil, canvas
22	望月 正男 MOCHIZUKI Masao	入り陽 Sunset	1972(昭和47)	油彩、キャンバス oil, canvas

うつろい～月と光～

24	上野 憲男 UENO Norio	漂流 月光の海 Drifting: The Sea of Moon Light	1981(昭和56)	エッティング、アクアチント、紙 etching, aquatint, paper
23	小野 伸一 ONO Shuichi	夜のラ・リュッシュ Nocturne with La Ruche	1985(昭和60)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
25	あべ 弘士 ABE Hiroshi	『エゾオオカミ物語』絵本原画より Original Illustrations from the Book of <i>Ezo Wolf Story</i>	2008(平成20)	グワッシュ、クレヨン、紙 gouache, crayon, paper

時間のうつろい～夜～

26	向山 潔 MUKOYAMA Kiyoshi	夜想 Nocturnal Imagination	1995(平成7)	クス、パイプ、シャフト(鉄)、ベアリング camphor tree, pipe, iron shaft, bearing
27	神山 明 KAMIYAMA Akira	いつもの道に迷いこむ Lost and Found on a Familiar Street	1988(昭和63)	スギ、オイルステイン japanese cedar, oilstain
28	難波田 龍起 NAMBATA Tatsuoki	夜の生物苑 Creatures' Garden at Night	1970(昭和45)	油彩、エナメル、キャンバス oil, enamel, canvas
29	板津 邦夫 ITAZU Kunio	星と太陽と月 The Stars, the Sun and the Moon	2000(平成12)	拭漆、チーク、クルミ、ステンレス、砥の粉 <i>fuki-urushi</i> , walnut, stainless, polishing powder
30	高橋 北修 TAKAHASHI Hokushu	眠る人 Sleeper	1943(昭和18)頃	鉛筆、紙 pencil, paper
31	高橋 北修 TAKAHASHI Hokushu	夜 Night	1941(昭和16)	鉛筆、紙 pencil, paper
32	高橋 北修 TAKAHASHI Hokushu	眠る人 Sleeper	1940(昭和15)頃	コンテ、紙 conte, paper

時間のうつろい～夜明け～

33	三浦 白琇 MIURA Hakushu	羽音 The Flap of Wings	1976(昭和51)	紙本彩色 color, paper
34	砂澤 ピッキ SUNAZAWA Bikky	午前3時の玩具 Toy at 3:00 A.M.	1987(昭和62)	カツラ Katsura
35	砂澤 ピッキ SUNAZAWA Bikky	きめん 粧面 Mask :Joy	1975(昭和50)	木 wood
36	上野 憲男 UENO Norio	朝へ To the Morning	1984(昭和59)	油彩、キャンバス oil, canvas

※出品作はすべて当館蔵



2024

4/27土→6/23日

休館日:月曜日(ただし4/29[月]、5/6[月]は開館)
4/30[火]、5/7[火]
開館時間:午前9時30分~午後5時
(入場は午後4時30分まで)

Art Expressing Morning, Day, and Night: Passage of Time and Changes in Light

アートのなかの朝・昼・夜

—時間と光のうつろい—

観覧料:一般510(400)円、高大生300(250)円
65歳以上、中学生以下、土曜日と
子どもの日の高校生は無料

*()内は10名以上の団体料金。

*学校の教育活動で利用する小・中・高校生とその引率者は無料。
*障害者手帳をお持ちの方等は無料。
*リピーター割引、ファミリー割引(一般+高校生)、旭川リンクリン
クミュージアムによる割引料金など、お得な割引料金もあります。
詳しくは当館までお問い合わせください。

主催:北海道立旭川美術館
共催:北海道新聞旭川支社



上)佐藤進「松蟬の頃」1986年 水彩・紙
中)丹野剛雄「猿一ひこばえ」1992年 (右)ウレタンオイル塗装・黒柿、ローズウッド、メープル／(左)ウレタンオイル塗装・カリン、パドック、メープル
下)あべ弘士「エゾオオカミ物語」絵本原画より 2008年 講談社 グワッシュ、クレヨン・紙
※すべて当館蔵

〒070-0044 旭川市常磐公園内 Tel 0166-25-2577
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>
X @Asahikawa_Art Instagram @asahikawa_art



北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art

Art Expressing Morning, Day, and Night:



アートのなかの朝・昼・夜



美術の世界では、目に見えない時間をさまざまな手法で視覚化することが試みられてきました。目の前の景色を画面に描き留めた風景画は、その一例としてあげられます。

また、創作するうえで重要な要素となるのが、光の表現です。作家たちは時間とともにうつろい、色や形を変える光をつぶさに観察し、表現に取り入れています。作品を鑑賞するということは、そのなかに流れる時間や光を味わうことだといえるかもしれません。

本展は、所蔵品のなかから、上野憲男による朝の静謐な空気を描いた絵画や、丹野則雄による芽吹く瞬間を表した木工芸、東谷武美による氷の溶ける様を日蝕に見立てた版画など、時間や光のうつろいをモチーフとした作品を中心に「朝」から「昼」そして「夜」へと移りゆく構成で紹介します。作品のなかに流れる時間をお楽しみください。

上、左から)

板津邦夫〈星と太陽と月〉2000年 拝漆・チーク・クリミ、ステンレス、砥の粉／上野憲男〈朝へ〉1984年 油彩・キャンバス

下、左から)

東谷武美〈日蝕F〉1983年 リトグラフ・紙／百瀬寿〈Square—between C and M〉1983年 ネコタイプ・キャンバス ※すべて当館蔵

Passage of Time and Changes in Light

関連事業

①親子でいっしょに！鑑賞体験ツアー

学芸員と一緒に、作品を見ながらお話をします。

日時：4月29日（月/祝）、5月3日（金）各日午後2時～（約30分）

講師：当館学芸員

会場：当館第1展示室（保護者の方々は観覧券が必要です）

対象：小学生とその保護者

定員：各回10組程度（事前申込制：4月5日[金]9時30分より申込開始）

お申し込み：0166-25-2577

▽展覧会や関連プログラムの日程、内容は、やむをえず変更となる場合がございます。
最新の情報は当館ホームページ等でご確認ください。

②30分でわかる！ 学芸員の見どころ解説

日時：5月17日（金）、6月1日（土）各日午後2時～（約30分）

講師：当館学芸員

会場：当館講堂（聴講無料）

定員：各回50名程度

※申込不要（当日先着順）

③ワークショップ「朝・昼・夜のものがたりをつくろう」

旭川市中央図書館の司書さんから「朝から夜までの1日の流れ」をモチーフとした絵本の紹介を受けた後、オリジナルの絵本をつくります。

日時：5月11日（土）、12日（日）各日午後1時30分～4時（途中休憩有り）

講師：旭川市中央図書館司書、当館学芸員

会場：当館講堂

対象：小学生

定員：各日10名（事前申込制：4月12日[金]9時30分より申込開始）

* 内容、参加料等の詳細は別途、事業ちらしやホームページでお知らせします。

第2展示室のごあんない

同時開催

夢みるアート

イマジネーションとファンタジー

この展覧会では、想像力を喚起させる幻想的な作品を紹介します。めくるめく夢のようなアートの世界をお楽しみください。

一般260（210）円、高大生150（110）円

※（ ）は10名以上の団体料金。

※中学生以下および65歳以上無料。

※土曜日と子どもの日は高校生無料。



【交通案内】

○徒歩：JR旭川駅から約20分。

○バス：JR旭川駅北側の1条通の14番バス停（1条8丁目）から3・24・33番のバスに乗り車。最寄りのバス停は（4条4丁目）（3・33番）、歩行5分。または（8条西1丁目）（24番）、歩行3分。また、バス停（常磐公園前）を経由するバス（バス停から歩7分）もご利用いただけます。

○タクシー：JR旭川駅から約10分。1000円程度。

○駐車場：常磐公園駐車場（無料／午前9時～午後5時）をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

〒070-0044 旭川市常磐公園内 Tel0166-25-2577
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art

高橋由一, 岸田劉生, 鴨居玲… 日本の洋画 150年の輝き

Oil Paintings in Japan: 150 Years of Glory

2024(令和6)年7月6日(土)～9月1日(日) 北海道立旭川美術館第1展示室

主催：北海道立旭川美術館、日本の洋画150年の輝き展旭川市民実行委員会 共催：北海道新聞旭川支社
協力：公益財団法人日動美術財団

出品目録

no.	作家名／artist	作品名／title	制作年	技法, 材質
1	高橋 由一 Yuichi Takahashi	鮭図 Salmon	1879-80(明治12-13)	油彩, 板
参考1	上野山 清貢 Kiyotsugu Uenoyama	燻製 Smoked Fish	1934(昭和9)	油彩, カンヴァス
2	高橋 由一 Yuichi Takahashi	丁髷姿の自画像 Self-Portrait with Chonmage Hairstyle	1866-67(慶応2-3)	油彩, カンヴァス
3	五姓田 義松 Yoshimatsu Goseda	人形の着物 Doll's Dress	1883(明治16)	油彩, カンヴァス
4	黒田 清輝 Seiki Kuroda	黒田清兼像 Portrait of Kiyokane Kuroda	1907(明治40)	油彩, カンヴァス
5	浅井 忠 Chu Asai	外国婦人図 (臨模) Portrait of Foreign Lady, Reproduction	1877(明治10)	木炭, 紙
6	荻原 碌山 Rokuzan Ogiwara	女 Woman	1910(明治43)	ブロンズ
7	岡田 三郎助 Saburosuke Okada	裸婦 Nude	1935(昭和10)	油彩, カンヴァス
8	藤島 武二 Takeji Fujishima	日の出 Sunrise	1931(昭和6頃)	油彩, カンヴァス
9	藤島 武二 Takeji Fujishima	ヴェニス風景 Venice	1908-09(明治41-42)	油彩, 板
10	満谷 国四郎 Kunishiro Mitsutani	かぐや姫 Princess Kaguya	1909(明治42)	油彩, カンヴァス
11	和田 英作 Eisaku Wada	近江石山寺紫式部 Murasaki Shikibu at the Ishiyama Temple of Omi	1925(大正14)	油彩, カンヴァス
12	金山 平三 Heizo Kanayama	下諏訪のリンク Skating Rink in Shimosuwa	1922(大正11)	油彩, カンヴァス
13	青木 繁 Shigeru Aoki	二人の少女 Two Girls	1909(明治42)	油彩, カンヴァス

no.	作家名／artist	作品名／title	制作年	技法, 材質
14	佐伯 祐三 Yuzo Saeki	パリの街角 Street in Paris	1927(昭和2)	油彩, カンヴァス
15	村山 槐多 Kaita Murayama	風景 Landscape	1915(大正4)	コンテ, 紙
16	長谷川 利行 Toshiyuki Hasegawa	男の像 (絵の仲間の像) Male Portrait, Painter's Friend	不詳	油彩, カンヴァス
17	萬 鉄五郎 Tetsugoro Yorozu	赤マントの自画像 Self-Portrait with Red Mantle	1912(大正元)	油彩, カンヴァス
18	萬 鉄五郎 Tetsugoro Yorozu	裸婦 Nude	1918(大正7)頃	水彩, 紙
参考2	秋田 義一 Giichi Akita	風景 Landscape	1922(大正11)	油彩, カンヴァス
19	鳥海 青児 Seiji Chokai	旧教寺院のある広場 Square of Government	1930-32(昭和5-7)頃	油彩, カンヴァス
20	三岸 好太郎 Kotaro Migishi	道化 (C) Clown (C)	1932-33(昭和7-8)頃	墨, 紙
21	岸田 劉生 Ryusei Kishida	築地居留地 Tsukiji Settlement	1913(大正2)	油彩, ボード
22	岸田 劉生 Ryusei Kishida	自画像 Self-portrait	1913(大正2)	油彩, カンヴァス
23	岸田 劉生 Ryusei Kishida	第2回フュウザン会展会場装飾画 Decorative Painting for the 2nd Fusain-kai Exhibition	1913(大正2)	油彩, ボール紙
24	岸田 劉生 Ryusei Kishida	第1回草土社展会場装飾画 Decorative Painting for the 1st Sodosha Exhibition	1915(大正4)	油彩, ボール紙
25	岸田 劉生 Ryusei Kishida	麗子之像 Portrait of Reiko	1918(大正7)	木炭, コンテ, 紙
26	岸田 劉生 Ryusei Kishida	村娘之図 Girl of the Village	1919(大正8)	木炭, パステル, 水彩, 紙
27	岸田 劉生 Ryusei Kishida	二階よりのスケッチ Sketch from the Second Floor	1917(大正6)	水彩, 紙
28	岸田 劉生 Ryusei Kishida	静物 Still Life	1919(大正8)	紙本彩色
29	岸田 劉生 Ryusei Kishida	静物 (林檎と葡萄) Still Life (Apple and Grape)	1919(大正8)	油彩, 板
30	岸田 劉生 Ryusei Kishida	寒山風麗子像 Portrait of Reiko, Kanzan Style	1922-23(大正11-12)	紙本墨画淡彩
31	岸田 劉生 Ryusei Kishida	丸山君の像 Portrait of Mr. Maruyama	1921(大正10)	油彩, カンヴァス
32	岸田 劉生 Ryusei Kishida	新富座寺子屋図 Terakoya Scene at Shintomiza Theatre	1922(大正11)	油彩, 板

no.	作家名／artist	作品名／title	制作年	技法, 材質
33	岸田 劉生 Ryusei Kishida	菊慈童 The Boy with Chrysanthemums	1926(大正15)	絹本彩色
34	岸田 劉生 Ryusei Kishida	麗子十六歳之像 Reiko, 16 years old	1929(昭和4)	油彩, カンヴァス
35	岸田 劉生 Ryusei Kishida	猫図 Cat	1926(大正15)	紙本彩色
36	岸田 劉生 Ryusei Kishida	歲寒三友之図 Pine, Bamboo and Plum	1927(昭和2)	紙本彩色
37	岸田 劉生 Ryusei Kishida	「かちかち山」 <i>Kachi-Kachi Mountain</i>	1917(大正6)	水彩, 紙
38	岸田 劉生 Ryusei Kishida	武者小路実篤『友情』特装本表紙 Cover of <i>Friendship</i> by Saneatsu Mushanokoji	1920(大正9)	木版, 紙
39	岸田 劉生 Ryusei Kishida	武者小路実篤『友情』特装本見返し Endpaper of <i>Friendship</i> by Saneatsu Mushanokoji	1920(大正9)	木版, 紙
40	岸田 劉生 Ryusei Kishida	「地蔵と鬼」 <i>Jizo and Ogre</i>	1921(大正10)	顔料, 墨, 紙
41	安井 曾太郎 Sotaro Yasui	実る柿 Bearing Kaki	1937(昭和12)頃	油彩, カンヴァス
42	中川 一政 Kazumasa Nakagawa	薔薇 Roses	不詳	油彩, カンヴァス
43	林 武 Takeshi Hayashi	三味線 Shamisen	1964(昭和39)	油彩, カンヴァス
44	坂本 繁二郎 Hanjiro Sakamoto	茶器 Tea Wares	1946(昭和21)	油彩, 板
45	小山 敬三 Keizo Koyama	富士山遠望 Distant View of Mt. Fuji	1941(昭和16)	油彩, カンヴァス
46	向井 潤吉 Junkichi Mukai	小吹雪く日 (岩手県遠野市土淵町山口) A Day of Small Blizzard (Tono Iwate-Prefecture)	1987(昭和62)	油彩, カンヴァス
47	朝井 閑右衛門 Kan-emon Asai	海辺の部屋 (葉山) The Room on the Seaside (Hayama)	1975(昭和50)	油彩, カンヴァス
48	梅原 龍三郎 Ryuzaiburo Umehara	窓辺裸婦図 Nude by the Window	1933(昭和8)	油彩, カンヴァス
49	梅原 龍三郎 Ryuzaiburo Umehara	花 Flowers	1972(昭和47)	油彩, カンヴァス
50	佐竹 德 Toku Satake	牛窓 Ushimado	1978(昭和53)	油彩, カンヴァス
51	岡 鹿之助 Shikanosuke Oka	花 Flowers	1939(昭和14)	油彩, カンヴァス
52	宮本 三郎 Saburo Miyamoto	画室の自画像 Self-Portrait in the Studio	1968(昭和43)	油彩, カンヴァス

no.	作家名／artist	作品名／title	制作年	技法, 材質
53	舟越 保武 Yasutake Funakoshi	C夫人 Mrs. C	1976(昭和 51)	大理石
54	熊谷 守一 Morikazu Kumagai	たんぽぽに蝶 Dandelion and Butterflies	1960(昭和 35)	油彩, 板
55	香月 泰男 Yasuo Kazuki	道路標識のある風景 Landscape with Road Signs	1974(昭和 49)	油彩, カン ヴァス
56	鴨居 玲 Rey Camoy	勲章 Medals	1985(昭和 60)	油彩, カン ヴァス
57	森本 草介 Sosuke Morimoto	微睡の時 Dozing Time	1984(昭和 59)	油彩, カン ヴァス
58	奥谷 博 Hiroshi Okutani	阿修羅 Ashura	1998(平成 10)	油彩, カン ヴァス

* 出品作品は参考 1, 2 を除き全て笠間日動美術館蔵。参考 1, 2 は北海道立旭川美術館蔵。

* 各データは所蔵先における表記に従った。

高橋由一、
岸田劉生、
鴨居玲…

日本の洋画

Oil Paintings in Japan : 150 Years of Glory



百五十年の輝き

油絵を、味わい尽くそう。

2024
7/6 ±
— 9/1 日

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

休館日：月曜日〔ただし7月15日、8月12日は開館〕、7月16日（火）、8月13日（火）

観覧料：一般 1,000円（800円）・高大生 600円（400円）・中学生以下無料
※（内は前売10名以上の团体料金）・障害者割引き料金をお持ちの方等は無料。＊当館では2024年7月5日（金）まで前売を販売します。
＊リビーター割引（旭川リンクリンクコード）による割引など、お得な割引料金もあります。詳細は旭川美術館へお問い合わせください。

■主催：北海道立旭川美術館・日本の洋画150年の輝き展旭川市民実行委員会 ■共催：北海道新聞旭川支社
■後援：旭川市、旭川市教育委員会、愛別町教育委員会、上川町教育委員会、鷹栖町教育委員会、当麻町教育委員会、美瑛町教育委員会、東川町教育委員会、東神楽町教育委員会、比布町教育委員会、NHK旭川放送局、旭川ケーブルテレビ、ホーリー・アート、FMりべーる、あさひかわ新聞、旭川商工会議所、旭川美術振興会 ■協力：公益財団法人日動美術財團

北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art

〒070-0044 旭川市常磐公園内 TEL.0166-25-2577

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

X @Asahikawa_Art ○ asahikawa_art

作品図版：高橋由一〈鮭図〉(部分)1879~80(明治12~13)年 笠間日動美術館蔵





岸田劉生《麗子之像》1918(大正7)年



藤島武二《日の出》1931(昭和6)年頃



安井曾太郎《実る柿》1937(昭和12)年頃



鴨居玲《勳章》1985(昭和60)年
上記4点全て、笠間日動美術館蔵

日本 の 洋 画

高橋由一、岸田劉生、鴨居玲…
百五十年の輝き
油絵を、味わい尽くそう。

幕末から明治への転換期、日本の美術界では油彩を中心とした西洋絵画の手法で描く絵画、いわゆる「洋画」が誕生しました。それから150年あまり、日本人画家たちはさまざまな表現様式や題材による洋画作品を生み出してきました。

本展では、笠間日動美術館の優れたコレクションのなかから、洋画の草分け的な存在である高橋由一、精神性をたたえた写実表現で知られる岸田劉生、社会や人間の内面世界を深く描き、いまなお人々の心を捉えてやまない鴨居玲など、近現代日本美術史を彩る巨匠たち35名の作品を一堂に展覧します。

なお、旭川会場では特別に岸田劉生作品の特集コーナーが設けられます。

約60点の秀作の数々をとおして、輝かしい洋画の潮流をご堪能ください。



関連事業

オープニング記念 特別講演会
「知られざる画家の素顔
思い出の作品たち～洋画編～」

【事前申込制】

講師：長谷川徳七氏(笠間日動美術館館長)、

長谷川智恵子氏(同館副館長)

日時：7月6日(土)午前10時30分～(約1時間)

会場：当館講堂(聴講無料、定員50名予定)

マダムケロコと学芸員のギャラリートーク

【事前申込制】

ゲスト：マダムケロコ氏(FMりべーるパーソナリティ)

日時：7月17日(水)、8月21日(水)各日午後6時～(約1時間)

会場：当館第1展示室(要観覧券、各回定員30名)

*事前申込制イベントの申込方法：

6月7日(金)より電話(0166-25-2577)にて受付。

*休館日(月曜)月曜が祝日の場合、翌火曜)を除く、午前9時30分～午後5時の間にお電話ください。定員に達しだい、締め切らせていただきます。

お茶会

協力：表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部

日時：8月25日(日)午前10時～(茶葉がなくなり次第終了)

会場：当館ロビー

*当日に限り、お茶券半券の提示により本展を割引料金で観覧いただけます。

*内容・参加料の詳細は別途、事業ちらしやホームページでお知らせします。

30分でわかる! 学芸員の見どころ解説

日時：7月12日(金)、8月3日(土)、8月18日(日)

各日午後2時～(約30分)

会場：当館講堂(聴講無料、当日先着順、各回定員50名)

開館記念日

本展を観覧の方に、オリジナルグッズをプレゼントします。

日時：7月24日(水)午前9時30分～(先着200名)

同時開催／第2展示室のご案内

草木と花を描く Painting Plants and Flowers



林の中や花のある風景など、緑ゆたかな自然像を描いた絵画をご紹介します。

佐藤道雄《夏の丘》
1995(平成7)年 当館蔵

観覧料：一般260(210)円、高大生150(110)円、
中学生以下・65歳以上無料。

*()内は10名以上の団体料金。

*高校生は土曜日ならびに学校の教育活動での利用は無料。

*道みんの日(7月17日)、開館記念日(7月24日)はどなとも無料。

交通案内

●徒歩：JR旭川駅から約20分。

●バス：JR旭川駅北側の1条通の④番バス停(1条8丁目)から3・24・33番のバスに乗車。最寄りのバス停は(4条4丁目)(3・33番)、徒歩5分。または(8条西1丁目)(24番)、徒歩3分。また、バス停(常磐公園前)を経由するバス(バス停から徒歩7分)もご利用いただけます。

●タクシー：JR旭川駅前から約10分。1,000円程度。

●駐車場：常磐公園駐車場(無料／午前9時～午後5時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

*展覧会及び関連事業の予定は、変更となることがあります。

当館ホームページなどでご確認ください。



生誕90年記念 藤戸竹喜の世界展

The World of FUJITO Takeki

2024(令和6)年9月14日㊁～11月17日㊂ 北海道立旭川美術館第1展示室

主催：北海道立旭川美術館、北海道新聞社、藤戸竹喜の世界展実行委員会

後援：旭川市、旭川市教育委員会

出品協力：鶴雅リゾート株式会社、一般財団法人 前田一步園財団、正徳寺、一般社団法人 札幌大学ウレシパクラブ

出品目録

序 旭川から阿寒へ

展示順	キャプション番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵先
1	1	藤戸竹喜	怒り熊	1964年	イチイ	一般財団法人 前田一步園財団蔵
2	3	藤戸竹喜	ぐんゆう 群熊	1967年	イチイ	一般財団法人 前田一步園財団蔵
3	21	エカシ像 クリムセ (弓の舞)：藤戸竹喜 イクパスイ： 貝澤幸司/貝澤徹 貝澤守/貝澤貢男 瀧口政満/藤戸幸夫	イランカラブテ像	2014年	クスなど	(一社)札幌大学 ウレシパクラブ蔵

旭川近文と木彫り熊

展示順	キャプション番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵先
4	—	不詳	木彫り熊（6点）	不詳	木	個人蔵
5	—	不詳	木彫り熊	1920年代か	木	個人蔵
6	—	不詳	木彫り熊	1920年代か	木	個人蔵
7	—	松井梅太郎	木彫り熊	1943年	イチイ	個人蔵
8	—	不詳	子熊を抱くメノコ	不詳	木	個人蔵
9	—	川上博	木彫り熊	1953年	木	個人蔵
10	—	藤戸竹夫	エカシ像	不詳	木	個人蔵
11	—	藤戸竹夫	熊と葡萄	不詳	クルミ	個人蔵
12	—	藤戸竹夫	熊と葡萄	不詳	木	個人蔵
13	2	藤戸竹喜	熊と葡萄のレリーフ	1966年	カツラ	一般財団法人 前田一步園財団蔵

藤戸竹喜のアイヌコレクション

展示順	キャプション番号	作家名	作品名	制作年	技法、材質	所蔵先
14	c-3	不詳	衣服	不詳	木綿	個人蔵
15	c-8	不詳	エムシとエムシアッ	不詳	不詳	個人蔵
16	c-9	不詳	エムシとエムシアッ	不詳	不詳	個人蔵
17	c-1	砂澤ベラモンコロ	子ども用衣服	不詳	鞠皮	個人蔵

18	c-2	砂澤ベラモンコロ	子ども用衣服	不詳	木綿	個人蔵
19	c-11	不詳	タマサイ	不詳	不詳	個人蔵
20	c-4	不詳	曾祖父・川上コヌサ旧蔵 サパンペ	不詳	不詳	個人蔵
21	c-5	不詳	サパンペ	不詳	不詳	個人蔵
22	c-10	不詳	トウキとイクパスイ	不詳	不詳	個人蔵
23	c-6	不詳	マキリ	不詳	木	個人蔵

1章 樹靈觀音

展示順	キャプション 番号	作家名	作品名	制作年	技法, 材質	所蔵先
24	4	藤戸竹喜	樹靈觀音像	1969年	イチイ	正徳寺蔵

2章 エカシとフチ

展示順	キャプション 番号	作家名	作品名	制作年	技法, 材質	所蔵先
25	5	藤戸竹喜	菊地儀之助とタケ	1970年	シナ	個人蔵
26	6	藤戸竹喜	秋アジ漁 日川善次郎	1970年	クルミ	個人蔵
27	7	藤戸竹喜	カムイノミ まりも祭り 日川善次郎	1970年	クルミ	個人蔵
28	8	藤戸竹喜	カムイノミ 菊地儀之助	1970年	クルミ	個人蔵
29	16	藤戸竹喜	狩り	1990年	クルミ	個人蔵
30	20	藤戸竹喜	フクロウ祭り ヤイタンキエカシ像	2013年	クス, クルミ	鶴雅リゾート(株)蔵
31	9	藤戸竹喜	熊狩りの像 菊地儀之助	1970年	クルミ	個人蔵
32	10	藤戸竹喜	熊狩り・雪山を行く	1980年	クルミ	個人蔵
33	11	藤戸竹喜	熊狩り・構える	1980年	クルミ	個人蔵
34	12	藤戸竹喜	熊狩り・コタンへ	1980年	クルミ	個人蔵
35	14	藤戸竹喜	鶏とフチ	1981年	クルミ	個人蔵
36	13	藤戸竹喜	仔犬とエカシ	1981年	クルミ	個人蔵
37	15	藤戸竹喜	少年と犬	1981年	クルミ	個人蔵
38	17	藤戸竹喜	日川善次郎像	1991年	クルミ	個人蔵
39	19	藤戸竹喜	川上コヌサ像	1993年	クス	個人蔵
40	18	藤戸竹喜	杉村フサ像	1993年	クルミ	個人蔵

3章 森羅の生命

展示順	キャプション 番号	作家名	作品名	制作年	技法, 材質	所蔵先
41	26	藤戸竹喜	オジロワシ	1978年	クルミ	個人蔵
42	27	藤戸竹喜	ネズミとフクロウ	1978年	クルミ	個人蔵
43	24	藤戸竹喜	鹿を襲う熊	1978年	クルミ	個人蔵
44	23	藤戸竹喜	鹿を襲う狼	1977年	クルミ	個人蔵
45	32	藤戸竹喜	鹿を襲う熊と狼	1978年	クルミ	個人蔵
46	31	藤戸竹喜	鹿	1978年	クルミ	個人蔵

47	33	藤戸竹喜	落角	1979年	クルミ	個人蔵
48	25	藤戸竹喜	狼	1978年	クルミ	個人蔵
49	28	藤戸竹喜	狼の親子	1978年	クルミ	個人蔵
50	29	藤戸竹喜	兎を捕る狐	1978年	クルミ	個人蔵
51	30	藤戸竹喜	走る狐	1978年	クルミ	個人蔵
52	53	藤戸竹喜	四季（春）	2004年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
53	54	藤戸竹喜	四季（夏）	2004年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
54	55	藤戸竹喜	四季（秋）	2004年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
55	56	藤戸竹喜	四季（冬）	2004年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
56	49	藤戸竹喜	リラックス	2001年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
57	51	藤戸竹喜	全身を耳にして	2002年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
58	52	藤戸竹喜	親子熊	2004年	クス	個人蔵
59	47	藤戸竹喜	川の恵み	2000年	クス	鶴雅リゾート(株)蔵
60	41	藤戸竹喜	ヤシガニ	1995年	イチイ	個人蔵
61	40	藤戸竹喜	ロブスター	1995年	エンジュ	個人蔵
62	42	藤戸竹喜	サワガニ	1995年	エリマキ	個人蔵
63	43	藤戸竹喜	ワラジエビ	1997年	クルミ	個人蔵
64	34	藤戸竹喜	ラッコ、潜る	1993年	エンジュ	個人蔵
65	35	藤戸竹喜	ラッコ、貝を割る	1993年	エンジュ	個人蔵
66	36	藤戸竹喜	ザトウクジラ	1993年	エンジュ	個人蔵
67	37	藤戸竹喜	ハンドウイルカ	1993年	エンジュ	個人蔵
68	38	藤戸竹喜	ジンベエザメ	1993年	エンジュ	個人蔵
69	39	藤戸竹喜	シュモクザメ	1993年	エンジュ	個人蔵
70	46	藤戸竹喜	白熊	1999年	クス	個人蔵
71	45	藤戸竹喜	白熊の親子	1999年	クス	個人蔵
72	44	藤戸竹喜	白熊の親子	1999年	クス	個人蔵
73	57	藤戸竹喜	熊五態・足をかく	2010年	イチイ	個人蔵
74	58	藤戸竹喜	熊五態・耳をすます	2010年	イチイ	個人蔵
75	59	藤戸竹喜	熊五態・立ち止まる	2011年	イチイ	個人蔵
76	60	藤戸竹喜	熊五態・見つめる	2011年	イチイ	個人蔵
77	61	藤戸竹喜	熊五態・吼える	2011年	イチイ	個人蔵
78	50	藤戸竹喜	狼	2002年	タモの埋もれ木	鶴雅リゾート(株)蔵
79	48	藤戸竹喜	狼の親子	2000年	タモの埋もれ木	鶴雅リゾート(株)蔵

4章 狼と少年の物語

展示順	キャプション 番号	作家名	作品名	制作年	技法, 材質	所蔵先
80	64	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	エンジュ	個人蔵

81	65	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	ウォールナット	個人蔵
82	66	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	ウォールナット	個人蔵
83	67	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	エンジュ	個人蔵
84	68	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	エンジュ, クス	個人蔵
85	69	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	エンジュ	個人蔵
86	70	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	エンジュ	個人蔵
87	71	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	ウォールナット	個人蔵
88	72	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	ニレの埋もれ木	個人蔵
89	73	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	クルミ	個人蔵
90	74	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	ニレの埋もれ木	個人蔵
91	75	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	クルミ	個人蔵
92	76	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	クルミ	個人蔵
93	77	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2016年	ウォールナット	個人蔵
94	78	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	ニレの埋もれ木	個人蔵
95	79	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	クルミ, ウォールナット	個人蔵
96	80	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	ニレの埋もれ木	個人蔵
97	81	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	ニレの埋もれ木	個人蔵
98	82	藤戸竹喜	狼と少年の物語	2017年	ニレの埋もれ木	個人蔵

99	87	藤戸竹喜	シーソー熊	2017年	クルミ	個人蔵
100	88	藤戸竹喜	シーソー熊・親子	2018年	クルミ	個人蔵
101	89	藤戸竹喜	シーソー熊・タイヤ	2017年	クルミ	個人蔵
102	90	藤戸竹喜	ごろんごろん熊・ばんざい	2017年	クルミ	個人蔵
103	91	藤戸竹喜	ごろんごろん熊・タイヤ	2017年	クルミ	個人蔵
104	62	藤戸竹喜	ちび熊	不詳	クルミ	個人蔵
105	22	藤戸竹喜	熊、じゃれる	1977年	クルミ	個人蔵
106	63	藤戸竹喜	四熊（言わざる、見ざる、聞かざる、せざる）	2016年	エリマキ	個人蔵

終章 終わらない旅

展示順	キャプション 番号	作家名	作品名	制作年	技法, 材質	所蔵先
107	83	藤戸竹喜	木登り熊	2018年	エンジュ	個人蔵
108	85	藤戸竹喜	遠吠えする狼	2018年	ニレの埋もれ木	個人蔵
109	84	藤戸竹喜	語り合う熊	2018年	クス	個人蔵
110	86	藤戸竹喜	這い熊	2018年 (未完の絶作)	クルミ	個人蔵

* 記載データは全て企画元提供のデータに基づいています。

The World of FUJITO Takeki

生誕90年記念

藤戸竹喜の世界展



藤戸竹喜《白熊》(部分) 1999年 クス 個人蔵
撮影:露口啓二

2024 9.14 SAT. — 11.17 SUN.

開館時間:午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日:9月17日(火)、9月24日(火)、9月30日(月)、10月7日(月)、10月15日(火)、

10月21日(月)、10月28日(月)、11月11日(月)

主催:北海道立旭川美術館、北海道新聞社、藤戸竹喜の世界展実行委員会

後援:旭川市、旭川市教育委員会

出品協力:鶴雅リゾート株式会社、一般財団法人 前田一歩園財団、正徳寺、一般社団法人 札幌大学ウレシバクラブ



展覧会公式ホームページ

<https://event.hokkaido-np.co.jp/fujito>

北海道立旭川美術館

Hokkaido Asahikawa Museum of Art

〒070-0044 旭川市常磐公園内 TEL. 0166-25-2577

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

X @Asahikawa_Art Instagram @asahikawa_art



藤戸竹喜(1934-2018)は、北海道の美幌町に生まれ、少年期を木彫り熊の職人で賑わう旭川市近文で過ごしました。熊彫りの名工として知られた父・竹夫のもと、12歳から熊彫りを始め、15歳には、一人前の職人として木彫り熊を店頭で彫り始めました。以来一貫して木彫制作に取り組み、1964年、30歳で北海道釧路市阿寒湖畔に民芸品店「熊の家」とアトリエを構えて独立。アイヌ民族の伝統的な彫りの技を受け継ぎながら、熊、狼、狐やクジラ、ラッコ、エビ、カニなど北に生きる動物たちや、先人たちの威厳あふれる肖像彫刻へと作域を広げ、独自の写実表現を追求しました。

生命あるものへの深い愛情に根ざした生氣あふれる作品は、国内外から高く評価され、2015年に北海道文化賞受賞、2016年には文化庁から地域文化功労者として表彰されています。

本展では、藤戸竹喜の仕事の全容を初期から晩年に至る代表作約90点によって紹介するとともに、藤戸が受け継ぎ、収集したアイヌコレクションをあわせて紹介し、藤戸の芸術世界を振り返ります。

The World of FUJITO Takeki 生誕90年記念 藤戸竹喜の世界展



①

[関連事業]

◎トークイベント【事前申込制】 「熱く語りたい。藤戸竹喜のこと」

日 時：9月14日(土) 午前10時30分～(約90分)

講 師：藤戸康平氏(アーティスト)

山崎真理子氏(北海道新聞旭川支社報道部長)

聞き手：五十嵐聰美氏

(本展企画監修者、前北海道立近代美術館学芸部長)

会 場：当館講堂(聴講無料、定員50名程度)

申込方法：8月14日(水)午前9時30分以降、お電話(0166-25-2577)

で申し受けます。休館日(月曜)を除く午前9時30分～午後5時の間に

お電話ください。定員に達しだい締め切らせていただきます。

●30分でわかる！学芸員の見どころ解説

日 時：9月28日(土)、10月12日(土)、11月8日(金)

各日午後2時～(約30分)

講 師：当館学芸員

会 場：当館講堂(聴講無料、定員50名程度)

▷展覧会や関連事業の日程、内容は、やむを得ず変更となる場合があります。

最新の情報はホームページ等でご確認ください。

同時開催／第2展示室のご案内

旭美の写実 Realism at Hokkaido Asahikawa Museum of Art

「藤戸竹喜の世界展」にあわせて、当館所蔵の絵画、彫刻、工芸から、細密描写あるいは超絶技巧による写実的な表現の作品を紹介します。



山口健智《静物一切れた電球》
1965年頃 当館蔵

観覧料／一般260(210)円

高大生150(110)円

* ()内は10名以上の団体料金。

* 中学生以下、65歳以上の方、土曜日の高校生は無料。

*芸術週間(11月1日～7日)はどなたも無料。

じつと木を見ている
と中から姿が出てくる
のです。見た物が頭の中に入り、それが木の中に浮かび、それを彫り出していく。上手に周りの木を取り除いて中の物を出してあげる、
という具合です。

北海道新聞
2014年10月6日掲載
「私のなかの歴史」より



藤戸竹喜 FUJITO Takeki
(1934-2018)



②



③

- ①《熊狩・コタンヘ》(部分) 1980年 クルミ 個人蔵
- ②《木登り熊》2018年 エンジュ 個人蔵
- ③《樹靈観音像》(部分) 1969年 イトイ 正徳寺蔵
- ④《イランカラフテ像》(部分) 2014年 クスほか
一般社団法人 札幌大学ウレシバクラブ蔵

④をのぞき 撮影：露島啓二
④撮影：大滝恭昌



札幌駅のイランカラフテ像、初めての遺征へ。

藤戸竹喜の アイヌ コレクション

藤戸は、木彫に打ち込む一方で、先人たちが残した衣服や宝刀を集め、宅や店舗に展示していました。そのなかから優品を選んで紹介します。



[交通のご案内]

○徒歩：JR旭川駅から約20分。

○バス：JR旭川駅北側の1条通の14番バス停(1条8丁目)から3・24・33番のバスに乗車。最寄りのバス停は(4条4丁目)(3・33番)、徒歩5分。または(8条西1丁目)(24番)、徒歩3分。また、バス停(常磐公園前)を経由するバス(バス停から徒歩7分)をご利用いただけます。

○タクシー：JR旭川駅から約10分。1,000円程度。

駐車場：常磐公園駐車場(無料／午前9時～午後5時)をご利用いただけますが、台数に限りがあります。



第1展示室 GALLERY 1

みんなの推し☆コレクション ~オススメの所蔵品を教えていただきました~

Everyone's Fave in Our Collection
2024/12/3 (火) ~ 12/25 (木)

■ “推し愛” あふれるコメントとともに

no.	作家名	作品名	制作年	技法、材質
1	木原康行 KIHARA Yasuyuki	Ossature	1973 (昭和48)	エッチング、アルシュ紙 etching, arches
2	百瀬 寿 MOMOSE Hisashi	Square — Pink to Yellow	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
3	神田一明 KANDA Kazuaki	静物(A) Still Life A	1976 (昭和51)	油彩、キャンバス oil, canvas
4	三上 純 MIKAMI Jun	THE HEXAHEDRON	1983 (昭和58)	カバ、クリアラッカー塗装 birch, clear lacquer
5	三沢厚彦 MISAWA Atsuhiko	Animal 2000-02	2000 (平成12)	クス、油彩 camphor, oil
6	山中晴夫 YAMANAKA Haruo	海の中の音楽会 Concert in the Sea	1987 (昭和62)	カバザクラ、トチ、ナラ、彩色 painted birch, Japanese horse chestnut, oak
7	須田賢司 SUDA Kenji	楓嵌装箱一双「二都物語」 Pair of Sycamore Maple Wood Boxes with Inlay Decoration, "Nito Monogatari (Tale of Two Cities)"	2010 (平成22)	楓、拭漆、カヒカシア、梨、ジリ コテ、グラナディラ、白蝶貝、パ ウア貝 sycamore maple, urushi lacquer, kahikatea black pine, pear, zircote, grenadilla, white mother of pearl, paua-shell
8	土屋公雄 TSUCHIYA Kimio	目を閉じて Close Your Eyes	1990 (平成2)	木(マッチ) wood(matches)
9	米谷雄平 YONEYA Yuhei	作品87-5 Work 87-5	1987 (昭和62)	アクリル絵具、胡粉、紙 acrylic, shell white, paper
10	羽生 輝 HANYU Hikaru	岩見浜にて At Iwamihama	2003 (平成15)	墨、グワッシュ、紙 ink, gouache, paper
11	上野憲男 UENO Norio	漂流 月光の海 Drifting: The Sea of Moon Light	1981 (昭和56)	エッチング、アクアチント、紙 etching, aquatint, paper
12	朝倉力男 ASAOKURA Rikio	河畔吹雪去る Riverside after a Snowstorm	1946 (昭和21)	油彩、キャンバス oil, canvas
13	佐藤道雄 SATO Michio	夏樹 Trees in Summer	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス oil, canvas
14	高坂和子 KOSAKA Kazuko	夏惜しむ Summer Passing Away	1987 (昭和62)	油彩、キャンバス oil, canvas

15	砂澤ビッキ SUNAZAWA Bikky	風の王と王妃 King and Queen of Wind	1988 (昭和63)	タモ manchurian ash
16	福井爽人 FUKUI Sawato	白い風 White Wind	2009 (平成21)	紙本彩色 color, paper
17	舟越 桂 FUNAKOSHI Katsura	夜は夜に A Night will Stay	2003 (平成15)	クス、大理石、アクリル絵具 camphor, marble, acrylic
※18	板津邦夫 ITAZU Kunio	じゃが・アニマル I Potato-shaped Animal I	1996 (平成8)	ナラ、墨 oak, ink

※no.18 板津邦夫《じゃが・アニマル I》はロビー（第2展示室前）に展示しています。

■発表☆2024上半期の人気者たち

no.	作家名	作品名	制作年	技法、材質
19	佐藤 進 SATO Susumu	松蝉の頃 The Season When Cicadas Begin Singing	1986 (昭和61)	水彩、紙 watercolor, paper
20	あべ弘士 ABE Hiroshi	『エゾオオカミ物語』絵本原画 Original illustrations from the Book of <i>Ezo Wolf Story</i>	2008 (平成20)	グワッシュ、クレヨン、紙 gouache, crayon, paper
21	土屋仁應 TSUCHIYA Yoshimasa	麒麟 A Legendary Chinese Animal "Qilin"	2017 (平成29)	クス、水晶、アクリル絵具、油彩 camphor, crystal, acrylic and oil

作品は全て当館蔵。

2024/12/3 北海道立旭川美術館

特別展

みんなの推し あ

コレクション

～オススメの所蔵品を教えていただきました～

2024.12月3日火-25日水

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は閉館30分前まで） 休館日：月曜日

主催／北海道立旭川美術館

たくさんの
ご応募
ありがとうございました！

令和6年度上半期（2024年4月27日～9月1日）、来館者やホームページで当館所蔵品の「推し」（好き、あるいはオススメの作品）を広く募集したところ、107件にものぼる応募をいただきました。その中から人気の高かった作品や熱いコメントが寄せられた作品21点を紹介します。応募者それぞれの“推しポイント”や“思い出のエピソード”などと一緒に“みんなの推しコレクション”をお楽しみください。

※展示作品の一覧は、11月1日（金）より当館ホームページで公開しています。

※スペース等の関係で出品できなかった作品については、寄せられたコメントを会場内でご紹介します。

観覧料：一般260（210）円、高大生150（110）円、65歳以上・中学生以下・土曜日の高校生は無料
＊（ ）内は10名以上の団体料金。＊学校の教育活動で利用する小・中・高校生とその引率者は無料。＊障害者手帳をお持ちの方等は無料。
＊リビーター割引、旭川リンクリンクミュージアムによる割引料金など、お得な割引料金もあります。詳しくは旭川美術館までお問い合わせください。

★徒歩／JR旭川駅から約20分

★バス／JR旭川駅北側の1条通の14番バス停[1条8丁目]から3・24・33番のバスに乗車。最寄りのバス停は[4条4丁目]（3・33番）、徒歩5分。または[8条西1丁目]（24番）、徒歩3分。
また、バス停[常磐公園前]を経由するバス（バス停から徒歩7分）もご利用いただけます。

★タクシー／JR旭川駅から約10分。1,000円程度。

★駐車場／常磐公園駐車場（無料/9:00～17:00）をご利用いただけますが、台数に限りがあります。



北海道立旭川美術館

Hokkaido Asahikawa Museum of Art

〒070-0044 旭川市常磐公園内 TEL 0166-25-2577

<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/abj>

X @Asahikawa_Art Instagram @asahikawa_art



うごと飛び出す！不思議な絵画 オプ・アート展

Op Art Exhibition:

Strange Paintings of Moving and Jumping Out, and More

2025/1/11(sat)~3/16(sun)

作品名 Title	制作年 Creation Year	技法、材質 Technique and Materials
作者名 Artist		
1 ジョーゼフ・アルバース Josef ALBERS フォーミュレーション：アーティキュレーション (全2巻 66点のうち16点) Formulation: Articulation (16 of 66 in 2 volumes)	1972	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
2 山口 正城 YAMAGUCHI Masaki 習作 Etude	1941 (昭和16)	油性インク・紙 oil-based ink, paper
3 山口 正城 YAMAGUCHI Masaki 無題 Untitled	1941 (昭和16)	油性インク・紙 oil-based ink, paper
4 山口 正城 YAMAGUCHI Masaki 連結せざる構造による縦線に伴う横線 Horizontal Lines with Vertical Lines at Intervals	1941 (昭和16)	水彩・紙 watercolor, paper
5 山口 正城 YAMAGUCHI Masaki 連結せざる構造による横線に伴う縦線 Vertical Lines with Horizontal Lines at Intervals	1941 (昭和16)	水彩・紙 watercolor, paper
6 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 深海 (1) Depth of the Sea (1)	1971	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
7 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 深海 (2) Depth of the Sea (2)	1971	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
8 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM ギャラクシー・フェスティバル Galaxy Festival	1980	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
9 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM リバティ No.5 Liberty No. 5	1980	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
10 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 『記憶』時の歩み-追憶 Memories: Step of Time-Remembrance	1989	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
11 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 『記憶』時の歩み-歴史 Memories: Step of Time-History	1989	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
12 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 新しき年の大気 New Year Air	1989	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
13 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 公然の小さな秘密 Little Secret in Light	1989	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
14 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM あらわになった小さな秘密 Little Secret out of Dark	1989	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
15 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM ふたりだけの小さな秘密 Intimate Little Secret	1989	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
16 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 『メキシコ』ユカタンの聖なるもの Mexico: Yucatan Holiness	1990	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
17 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 『メキシコ』ユカタンの魔術 Mexico: Yucatan Magic	1990	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
18 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM ピカソ礼賛 Homage to Picasso	1990	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
19 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 幸福な結婚 Happy Marriage	1990	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
20 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 『祝祭』お祭り気分 Celebration: Festivity	1990	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper
21 ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM 『祝祭』仮面舞踏会 Celebration: Masquerade	1990	リトグラフ、アクリル・紙 lithograph, acrylic, paper

22	ヤーコブ・アガム Yaacov AGAM	鼓動する心臓（ムード） Beating Heart (Moods)	1972	ステンレススチール stainless steel
23	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	KEZDI	1989	彩色・木 color, wood
24	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	TSILLAG	1990	アクリル絵具・木 acrylic, wood
25	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	HEGYES	1964	コラージュ、アクリル絵具・紙 collage, acrylic, paper
26	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	GOTHA-NEG	1958-78	アクリル絵具・キャンバス acrylic, canvas
27	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	BATTOR	1977	アクリル絵具・キャンバス acrylic, canvas
28	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	DOMBAS-2	1974	アクリル絵具・キャンバス acrylic, canvas
29	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	DIA-OR	1974	木綿・羊毛・ゴブラン織 cotton, wool, gobelin weave
30	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	OB	1955	油彩・板 oil, board
31	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	C-LAPIDAIRE-C	1962	コラージュ・紙 collage, paper
32	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	パリ-東京 I. AUDARD Paris -Tokyo I. AUDARD	1980	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
33	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	パリ-東京 II. BI-OCTANS Paris -Tokyo II. BI-OCTANS	1980	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
34	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	パリ-東京 III. SILVA Paris-Tokyo III. SILVA	1980	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
35	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	パリ-東京 IV. TAKAT Paris-Tokyo IV. TAKAT	1980	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
36	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	パリ-東京 V. TRIBOSS Paris-Tokyo V. TRIBOSS	1980	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
37	ヴィクトル・ヴァザルリ Victor VASARELY	パリ-東京 VI. TUPA-TU Paris-Tokyo VI. TUPA-TU	1980	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
38	ヘスス・ラファエル・ソト Jesus-Rafael SOTO	相反価値、ニューヨーク J Ambivalence New York J	1984	彩色・木、金属 color, wood, metal
39	ブリジット・ライリー Bridget RILEY	アレスト I Arrest I	1965	乳剤・綿キャンバス emulsion, cotton canvas
40	ブリジット・ライリー Bridget RILEY	シリーズ41 緑に赤と青、黄と紫のねじれ Series 41: Green Added Red and Blue, Yellow and Violet both 2 Colours Twists. Double Reverse	1979	グアッシュ・紙 gouache, paper
41	ブリジット・ライリー Bridget RILEY	ファイアバード Firebird	1971	シルクスクリーン・紙 silkscreen, paper
42	ブリジット・ライリー Bridget RILEY	VIVA	1985	油彩・リネン oil, linen
43	リチャード・アヌスキィウツ Richard ANUSZKIEWICZ	ライト・カドミウム・レッド・スクウェア Light Cadmium Red Square	1979	アクリル絵具・キャンバス acrylic, canvas
44	リチャード・アヌスキィウツ Richard ANUSZKIEWICZ	聖なる黄色の寺院 Temple of Sacred Yellow	1984	アクリル絵具・キャンバス acrylic, canvas
45	リチャード・アヌスキィウツ Richard ANUSZKIEWICZ	聖なる黒の寺院 Temple of Sacred Black	1983	アクリル絵具・キャンバス acrylic, canvas

No.1, nos.6-45 : 北海道立近代美術館蔵
nos.2-5 : 当館蔵
No.1 and nos.6 -45 : Collection of Hokkaido Museum of Modern Art
nos. 2-5 : museum collection

夢みるアート イマジネーションとファンタジー

Dreamy Artworks: Imagination and Fantasy

2024/4/27(sat)~6/23(sun)

作品名 Title	制作年 Creation Year	技法・材質 Technique and Materials
作者名 Artist		
1 土屋 仁応 TSUCHIYA Yoshimasa 麒麟 A Legendary Chinese Animal "Qilin"	2017 (平成29)	クス、水晶、アクリル絵具、油彩 camphor, crystal, acrylic, oil
2 矢柳 剛 YAYANAGI Go 愛の動物誌 II (N) Animal Series of Love II (N)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
3 矢柳 剛 YAYANAGI Go 愛の動物誌 II (M) Animal Series of Love II (M)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
4 矢柳 剛 YAYANAGI Go 愛の動物誌 II (P) Animal Series of Love II (P)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
5 矢柳 剛 YAYANAGI Go 愛の動物誌 II (Q) Animal Series of Love II (Q)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
6 矢柳 剛 YAYANAGI Go 愛の動物誌 II (R) Animal Series of Love II (R)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
7 矢柳 剛 YAYANAGI Go 愛の動物誌 II (U) Animal Series of Love II (U)	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
8 翫 嘴 AY-O Rainbow Passes Slowlyより From the Dictionary 3	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
9 翫 嘴 AY-O Rainbow Passes Slowlyより From the Dictionary 5	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
10 翫 嘴 AY-O Rainbow Passes Slowlyより From the Dictionary 4	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
11 翫 嘴 AY-O Rainbow Passes Slowlyより From the Dictionary 6	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
12 翫 嘴 AY-O Rainbow Passes Slowlyより From the Dictionary 7	1971 (昭和46)	シルクスクリーン、紙 screen printing, paper
13 米谷 雄平 YONEYA Yuhei 生命地図-1 Map of Life 1	1992 (平成4)	アクリル絵具、胡粉、紙 acrylic, gofun, paper
14 福井 爽人 FUKUI Sawato 彩の刻 Auspicious Moment	2008 (平成20)	紙本彩色 color, paper
15 根守 悅夫 NEMORI Etsuo 岳 Mountains	1970 (昭和45) 前	油彩、キャンバス oil, canvas
16 根守 悅夫 NEMORI Etsuo 秘史 Secret History	1973 (昭和48)	油彩、キャンバス oil, canvas
17 舟越 桂 FUNAKOSHI Katsura 夜は夜に A Night will Stay	2003 (平成15)	クス、大理石、アクリル絵具 camphor, marble, acrylic

18	舟越 桂 FUNAKOSHI Katsura	「夜は夜に」のためのドローイング Drawing for "A Night will Stay"	2002 (平成14)	鉛筆、紙 pencil, paper
19	砂澤 ピッキ SUNAZAWA Bikky	ニツネカムイ Nitsune-kamui, Evil God	1988 (昭和63)	カツラ、クルミ、タモ katsura, walnut, manchurian ash
20	菅沼 緑 SUGANUMA Roku	箱の中と外 (1) Inside and Outside of the Box (1)	1987 (昭和62)	象嵌、チークほか teak, inlay, etc.
21	山中 晴夫 YAMANAKA Haruo	海の中の音楽会 Concert in the Sea	1987 (昭和62)	カバザクラ、トチ、ナラ、彩色 painted birch, japanese horse chestnut, oak

※出品作はすべて当館蔵

草木と花を描く

Painting Plants and Flowers

2024/7/6(sat)~9/1(sun)

作品名 Title	制作年 Creation Year	技法、材質 Technique and Materials
作者名 Artist		
1 小林 敬生 KOBAYASHI Keisei 版画集「北の調べ」 北の森から Tune of the North: From the North Forest	1996 (平成8)	木口木版、手彩色、紙 woodcut print, hand colored, paper
2 佐藤 進 SATO Susumu 丘 Hill	1954 (昭和29)	水彩、紙 watercolor, paper
3 佐藤 進 SATO Susumu 新緑の頃 The Season of Fresh Green	1982 (昭和57)	水彩、紙 watercolor, paper
4 佐藤 道雄 SATO Michio 夏の丘 Hill in Summer	1995 (平成7)	油彩、キャンバス oil, canvas
5 小沼 源雄 KONUMA Moto'o 深山の秋 Autumn in Mountains	1977 (昭和52) 頃	油彩、キャンバス oil, canvas
6 一木 万寿三 ICHIKI Masumi リンゴの木・秋 Apple Trees; Autumn	1962 (昭和37)	油彩、キャンバス oil, canvas
7 あべ 弘士 ABE Hiroshi 『エゾオオカミ物語』 絵本原画 Original Illustrations from the Book of <i>Ezo Wolf Story</i>	2008 (平成20)	グワッシュ、クレヨン、紙 gouache, crayon, paper
8 小浜 亀角 KOHAMA Kikaku 海嘯による枯林 Blighted Forest by Bore	1967 (昭和42)	紙本彩色 color, paper
9 福井 爽人 FUKUI Sawato サン・マリーへの道 The Way to Sainte-Marie	2006 (平成18)	紙本彩色 color, paper
10 福井 爽人 FUKUI Sawato 野の花 Wild Flowers	1988 (昭和63)	リトグラフ、和紙 lithograph, Japanese paper
11 遠藤 享 ENDO Susumu 版画集「北の調べ」 <SPACE & SPACE N-S5> Tune of the North	1996 (平成8)	オフセット・リトグラフ、アルシュ紙 offset lithograph, arches watercolor paper
12 遠藤 享 ENDO Susumu SPACE & SPACE < NATURE-0704 >	2007 (平成19)	オフセット・リトグラフ、アルシュ紙 offset lithograph, arches watercolor paper
13 遠藤 享 ENDO Susumu SPACE & SPACE < NATURE-1003 >	2010 (平成22)	オフセット・リトグラフ、アルシュ紙 offset lithograph, arches watercolor paper
14 丹野 則雄 TANNO Norio 葢一ひこばえ Sprout Boxes	1992 (平成4)	(右) 黒柿、ローズウッド、メープル、 ウレタンオイル塗装 / (左) カリン、パ ドック、メープル、ウレタンオイル塗装 black persimmon, rosewood, maple, urethanoil/chinese quince, paddock, maple, urethanoil

15	臼田 健二 USUDA Kenji	木の葉のボウル Flat Wooden Leaf Bowls	デザイン：2001 (平成13) 制作：2008 (平成20)	クルミ、カエデ walnut, maple
16	小野 州一 ONO Shuichi	花とフルーツ Flowers and Fruits	1990 (平成2)	油彩、クレヨン、鉛筆、ボード oil, crayon, pencil, board
17	小野 州一 ONO Shuichi	黒いバックの花 Flowers on a Black Background	1990 (平成2)	油彩、キャンバス oil, canvas
18	高坂 和子 KOSAKA Kazuko	夏惜しむ Summer Passing Away	1987 (昭和62)	油彩、キャンバス oil, canvas
19	高坂 和子 KOSAKA Kazuko	秋想 My Autumn Thoughts	1983 (昭和58)	油彩、キャンバス oil, canvas
20	田辺 謙輔 TANABE Kensuke	除虫菊の咲く丘 Pyrethrums Bloom on the Hill	1935 (昭和10)	油彩、キャンバス oil, canvas

※出品作はすべて当館蔵

**リアル
旭美の写実 同時展示：川崎映～北の生きものを描く～**

Realism at Hokkaido Asahikawa Museum of Art

Ei Kawasaki: Illustrations of Living Things in Hokkaido

2024/9/14(sat)～11/17(sun)

**リアル
旭美の写実**

作品名 Artist	作品名 Title	制作年 Creation Year	技法、材質 Technique and Materials
1 山口 健智 YAMAGUCHI Kenchi	画家の像（自画像） Portrait of the Painter (self-portrait)	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス oil, canvas
2 山口 健智 YAMAGUCHI Kenchi	静物一切れた電球 Still Life: a Burn-out Light Bulb	1965 (昭和40) 頃	油彩、キャンバス oil, canvas
3 山口 健智 YAMAGUCHI Kenchi	小海老の静物 Still Life with Shrimps	1976 (昭和51)	油彩、板 oil, board
4 山口 健智 YAMAGUCHI Kenchi	部屋の片隅 Corner of the Room	1976 (昭和51)	油彩、板 oil, board
5 山口 健智 YAMAGUCHI Kenchi	壁 Wall	1964 (昭和39) 頃	油彩、キャンバス oil, canvas
6 山口 健智 YAMAGUCHI Kenchi	紙片など Paper and Objects	1972 (昭和47)	油彩、板 oil, board
7 佐藤 進 SATO Susumu	南瓜 Pumpkins	1946 (昭和21)	水彩、紙 watercolor, paper
8 佐藤 進 SATO Susumu	館 Palace	1980 (昭和55)	水彩、紙 watercolor, paper
9 佐藤 進 SATO Susumu	鳥ぐもり Torigumori (cloudy sky)	1982 (昭和57)	水彩、紙 watercolor, paper
10 杉本 カツヨシ SUGIMOTO Katsuyoshi	ゆきのまち Snow-covered Town	2001 (平成13)	油彩、キャンバス oil, canvas
11 舟越 桂 FUNAKOSHI Katsura	午後にはガンター・グローヴにいる I'll be Back to Gunter Grove, Afternoon	1988 (昭和63)	クス、大理石、アクリル絵具 camphor tree, marble, acrylic
12 三宅 一樹 MIYAKE Ikki	素脚詞VII Fascination of Legs VII	2003 (平成15)	カヤ、クス japanese torreya, camphor tree
13 中井 啓二郎／丹野 則雄 NAKAI Keijiro TANNO Norio	木鞠 (KIBAN) Wooden Bag	1981 (昭和56)	クルミ、コルク、ローズウッド、革 walnut, cork, rosewood, leather
14 八田 賴明 HATTA Yoriaki	むすびの箱 (女) Joined Boxes (Female)	1981 (昭和56)	キリ、クロガキ paulownia, black persimmon
15 八田 賴明 HATTA Yoriaki	むすびの箱 (男) Joined Boxes (Male)	1981 (昭和56)	ケヤキ zelkova
16 大門 厳 DAIMON Takeshi	き・に・なる・箱 Ki-ni-naru-hako Box	1992 (平成4)	クルミ、シナ、アフリカンパドック、 ピッチャパイプ、ウレタンオイル塗装 (内箱)、白木用ウレタン塗装(外 箱) walnut, japanese linden, african paddock, pitch pipe, urethanoil

17	大門 嶽 DAIMON Takeshi	ふわふわ Soft	1983 (昭和58)	クルミ、カバ、ローズウッド、カリ ン、麻 walnut, birch, rosewood, chinese quince, hemp
18	大橋 行雄 OHASHI Yukio	シジュウカラハコ (小物入) Empty Box with a Titmouse	1987 (昭和62)	シナ japanese linden
19	大門 嶽 DAIMON Takeshi	アッ! Oh!	1986 (昭和61)	タモ manchurian

※すべて当館蔵
Museum Collection

同時展示：川崎映～北の生きものを描く～

作者名 Artist	作品名 Title	制作年 Creation Year	技法、材質 Technique and Materials
1 川崎 映 KAWASAKI Ei	エゾライチョウ Hazel Grouse	2022 (令和4)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
2 川崎 映 KAWASAKI Ei	エゾアカガエル Ezo Brown Frog	2015 (平成27)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
3 川崎 映 KAWASAKI Ei	カドバリヒメマイマイ Kadobari-hime-maimai	2018 (平成30)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
4 川崎 映 KAWASAKI Ei	ホンブレイキマイマイ Hon-bureiki-maimai	2020 (令和2)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
5 川崎 映 KAWASAKI Ei	Spring Ephemerals	2019 (令和元)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
6 川崎 映 KAWASAKI Ei	レブンアツモリソウ Rebun Island Lady's Slipper	2020 (令和2)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
7 川崎 映 KAWASAKI Ei	オオミズアオ Japanese Luna Moth	2017 (平成29)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
8 川崎 映 KAWASAKI Ei	エゾシロチョウ Black-veined White	2018 (平成30)	色鉛筆、鉛筆、紙 colored pencils, pencil, paper
9 川崎 映 KAWASAKI Ei	ヤチウグイ Swamp Minnows	2019 (令和元)	色鉛筆、白ペン、紙 colored pencils, white pen, paper
10 川崎 映 KAWASAKI Ei	アオダイショウ Japanese Rat Snake	2016 (平成28)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
11 川崎 映 KAWASAKI Ei	エゾサンショウウオ Ezo Salamander	2017 (平成29)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper
12 川崎 映 KAWASAKI Ei	キタサンショウウオ Siberian Salamander	2024 (令和6)	色鉛筆、紙 colored pencils, paper

※すべて作家蔵
Artist's Collection

追悼 彫刻家・板津邦夫

ITAZU Kunio Remembrance Exhibition

2024/12/3(火)～2025/3/16(日)

no.	作品名 Title	制作年 Creation Year	技法、材質 Technique and Materials
1	そうぼう 双貌 Two Faces	1964(昭和39)	ケヤキ、アスファルト zelkova, asphalt
2	ちかぶみ 近文の少女 Girl at Chikabumi	1961(昭和36)	ブロンズ bronze
3	彫刻のある風景10, 4, '64 Scenery with Sculptures 10, 4, '64	1964(昭和39)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
4	彫刻のある風景13, XI, '64 Scenery with Sculptures 13, XI, '64	1964(昭和39)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
5	そうぼう 双貌6, XII, '65 Two faces 6, XII, '65	1965(昭和40)	リトグラフ、紙 lithograph, paper
6	植物（芽） Plant: Germ	1978(昭和53)	クルミ、真鍮 walnut, brass
7	仮面 Mask	1979(昭和54)	マカバ birch
8	仮面 Mask	1979(昭和54)	木版、紙 woodblock print, paper
9	木のなかの顔 Face in Wood	1967(昭和42)	マカバ birch
10	大きな仮面 Big Mask	1980(昭和55)	ナラ oak
11	風神、又は、雷神 Wind God or Thunder God	1982(昭和57)	ニレ、拭漆 elm, urushi - lacquer
12	浮遊 Floating	1981(昭和56)	木版、紙 woodblock print, paper

13	五月の朝 Morning in May	1980(昭和55)	木版、紙 woodblock print, paper
14	コスモス Cosmos	2004(平成16)	木版、紙 woodblock print, paper
15	雪山と湖 Snow Mountain and Lake	2006(平成18)	木版、紙 woodblock print, paper
16	ばくしゅう 〈麦秋〉のためのデッサン Drawing for "The Barley Harvest Season"	2001(平成13)頃	墨、水彩絵具、紙 ink, water color, paper
17	ばくしゅう 麦秋 The Barley Harvest Season	2001(平成13)	ナラ、彩色(阿仙) oak, color(catechu)
18	星と太陽と月 The Stars, the Sun and the Moon	2000(平成12)	チーク、クルミ、拭漆、ステンレス、砥の粉 teak, walnut, urushi - lacquer, stainless, polishing powder
19	僕の夏休み自由研究 4年2組 板津邦夫 My Summer Homework: Submitted by ITAZU Kunio, Classroom 2, 4th Grade	2004(平成16)	アクリル絵具、木 acrylic, wood
20	僕の夏休み自由研究 4年2組 板津邦夫 My Summer Homework: Submitted by ITAZU Kunio, Classroom 2, 4th Grade	2004(平成16)	アクリル絵具、木 acrylic, wood
21	はたらく自動車 Working Model Vehicle	2005(平成17)	アクリル絵具、木 acrylic, wood
22	はたらく自動車 Working Model Vehicle	2005(平成17)	木 wood

ロビー展示

23	じゃが・アニマルⅠ Potato-shaped Animal Ⅰ	1996(平成8)	ナラ、墨 oak, ink
24	風の家 House in the Teeth of Wind	1995(平成7)	ナラ、彩色(アクリル絵具) oak, color(acrylic)

※全て当館蔵

2-C 教育普及活動

2-C-1 教育普及活動一覧

1 講演・講座

【講演会】

美術への興味関心を高め、展覧会への理解を深めるため、外部から講師を招いて行った。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	聴講者数
7月6日（土）	「知られざる画家の素顔 思い出の作品たち～洋画編～」	長谷川徳七氏（笠間日動美術館館長）、長谷川智恵子氏（笠間日動美術館副館長）	講堂	47名
9月14日（土）	トークイベント「熱く語りたい。藤戸竹喜のこと」	五十嵐聰美氏（「藤戸竹喜の世界展」企画監修者） 藤戸康平氏（アーティスト） 山崎真理子氏（北海道新聞旭川支社報道部長）	講堂	60名

【講座等】

主に展覧会に関連したテーマにより、美術への興味と理解を深めてもらうために行った。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	聴講者数
5月17日（金）	「アートのなかの朝・昼・夜」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	津田しおり（学芸員）	講堂	5名
6月1日（土）	「アートのなかの朝・昼・夜」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	津田しおり（学芸員）	講堂	11名
7月12日（金）	「日本の洋画 150年の輝き」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	藤原乃里子（学芸課長）	講堂	13名
8月3日（土）	「日本の洋画 150年の輝き」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	藤原乃里子（学芸課長）	講堂	7名
8月18日（日）	「日本の洋画 150年の輝き」展 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	藤原乃里子（学芸課長）	講堂	12名
9月28日（土）	「藤戸竹喜の世界展」 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	津田しおり（学芸員）	講堂	38名
10月12日（土）	「藤戸竹喜の世界展」 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	津田しおり（学芸員）	講堂	19名
11月8日（金）	「藤戸竹喜の世界展」 30分でわかる！学芸員の見どころ解説	津田しおり（学芸員）	講堂	21名
1月31日（金）	ちょっと真面目な美術トーク 「オブ・アートって何？」	寺地亜衣（学芸員）	講堂	7名
3月 8日（土）	ちょっと真面目な美術トーク 「オブ・アートって何？」	寺地亜衣（学芸員）	講堂	11名

2 解説

【オリエンテーション】

鑑賞の一助とするために、展覧会内容についての簡単な解説を希望する団体に隨時行った。

20件 543名

【ギャラリー・トーク】

展示会場で講話や作品解説を行った。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加者数
7月17日（水）	マダムケロコと学芸員のギャラリートーク	マダム・ケロコ氏（FMりべるパーソナリティ） 藤原乃里子（学芸課長）	第1展示室	24名
8月21日（水）	マダムケロコと学芸員のギャラリートーク	マダム・ケロコ氏（FMりべるパーソナリティ） 藤原乃里子（学芸課長）	第1展示室	20名

3 上演・実演等

【上演】

「藤戸竹喜の世界展」に関連して、作家の制作風景を収めた映像を上映した。

月 日	内 容	会 場	参加者数
9月14日（土）～ 11月17日（日）	「親子熊の制作」（6分40秒） [制作・著作：札幌映像プロダクション（2018年1月）]	ロビー	—

【実演】

「日本の洋画 150年の輝き」展に関連して、お茶会を実施した。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加者数
8月25日（日）	お茶会	表千家同門会旭川支部 旭川地区青年部	ロビー	210名

4 親子・子ども向け事業

【ワークショップ】

「アートのなかの朝・昼・夜」展に関連して、旭川市中央図書館の司書から「朝から夜までの1日の流れ」をモチーフとした絵本の紹介を受けた後、オリジナルの絵本を作成した。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加者数
5月11日（土）	「朝・昼・夜のものがたりをつくろう」	富田千尋氏（旭川中央図書館司書） 津田しおり（学芸員）	講堂	12名
5月12日（日）	「朝・昼・夜のものがたりをつくろう」	富田千尋氏（旭川中央図書館司書） 津田しおり（学芸員）	講堂	14名
2月 8日（土）	からだの錯覚体験会【スライムハンド】	藤原出雲氏（旭川市科学館主査）	ロビー	62名

【夏休み工作アトリエ】

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加者数
7月28日（日）	夏休み工作アトリエ 「すてきなカップをつくろう！」	風間ゆかり氏（ゆかり陶房） 前内千景氏（ゆかり陶房）	講堂	17名

【子ども鑑賞ツアー】

展示会場で学芸員が子どもたちと一緒に作品を観ながら解説をした。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加者数
4月29日（月祝）	「アートのなかの朝・昼・夜」展 親子でいっしょに！鑑賞体験ツアーア	津田しおり（学芸員）	第1展示室	4名
5月 3日（金祝）	「アートのなかの朝・昼・夜」展 親子でいっしょに！鑑賞体験ツアーア	津田しおり（学芸員）	第1展示室	9名

【冬のウッディ★工作アトリエ】

木の造形に関連したワークショップを行い、小学生が創作と作品鑑賞の体験を通じ、美術への関心を深める機会とした。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加者数
2月22日(土)	冬のウッディ★工作アトリエ2025 「手さげ木箱をつくろう！」	北海道旭川農業高等学校森林 科学科森林資源活用班、森林 循環班、津田しおり(学芸 員)	講堂 第1展示室	27名

5 学校向け事業

【オンラインアート教室】

美術作品にふれる機会の少ない地域等における鑑賞機会の拡充や子ども達の美術作品への理解促進を図るために、美術館と学校とを繋いだオンラインによる講義を実施した。

月 日	内 容	講 師 等	参加学校・人数
10月1日 (火)	オンラインアート教室 「ひらいてみよう！木の箱のワン ダーランド」	藤原乃里子(学芸課長)、 寺地亜衣(学芸員)、 津田しおり(学芸員)	札幌西高等学校 2学年・41名
10月10日 (木)	オンラインアート教室 「そっくり？びっくり！リアルな アートを楽しもう」	藤原乃里子(学芸課長)、 寺地亜衣(学芸員)、 津田しおり(学芸員)	岩見沢高等養護学校 5名
10月23日 (水)	オンラインアート教室 「そっくり？びっくり！リアルな アートを楽しもう」	藤原乃里子(学芸課長)、 寺地亜衣(学芸員)、 津田しおり(学芸員)	旭川市立末広北小学校 2学年、36名
11月15日 (金)	オンラインアート教室 「身近な風景から、別世界を生み出 す：コンピューター・グラフィック スの表現」	藤原乃里子(学芸課長)、 寺地亜衣(学芸員)、 津田しおり(学芸員)	函館市立北星小学校 3・4学年、22名

6 教員向け事業

【教員のための鑑賞研修】

教員等を対象に、学芸員による解説と鑑賞の機会を設け、児童生徒の鑑賞の推奨等、鑑賞教育の実践に役立ててもらうことを目的とした研修を実施。

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加人数
5月25日 (土)	「アートのなかの朝・昼・夜」展	津田しおり(学芸員)	講堂	3名
7月27日 (土)	「日本の洋画 150年の輝き」展	藤原乃里子(学芸課長)	講堂	7名
10月26日 (土)	「藤戸竹喜の世界展」	津田しおり(学芸員)	講堂	4名
1月25日 (土)	「オプ・アート展」	寺地亜衣(学芸員)	講堂	4名

7 連携事業

【旭川地域連携アートプロジェクト】

中学校美術部顧問の教員、当館学芸員の連携による鑑賞を「日本の洋画 150年の輝き」展を舞台に行った。

鑑賞プログラム

月 日	内 容	講 師 等	会 場	参加美術部・人数
7月30日（火）	「日本の洋画 150年の輝き」展の鑑賞及び解説や対話などを中心としたギャラリートーク	中学校美術部顧問、当館学芸員	第1展示室 講堂	東神楽中、東陽中・49名
8月2日（金）				東川中、愛別中・30名
8月8日（木）				北星中、啓北中・27名
8月8日（木）				旭川中、神居中・27名
8月9日（金）				緑が丘中・18名
8月9日（金）				忠和中、士別南中・20名

【旭川市中央図書館×北海道立旭川美術館コラボレーション2024】

学習機会の創出、地域文化の振興を目的として、旭川市中央図書館と年間を通じて行う連携事業。
令和6年度は、「旭美の写実（リアル）」展に関連し、図書館内で「おと高の写実」展を開催。

月 日	内 容	会 場
9月28日（土） ～11月28日（木）	「おと高の写実（リアル）」と題し北海道おといねっぷ美術工芸高等学校の生徒たちが描いた、写実的な絵画作品10点を展示。	旭川市中央図書館ミニギャラリー

8 協力事業

【職場体験】

中学校の「総合的な学習の時間」における職場体験活動に協力するため、生徒の受入を行った。

月 日	内 容	参加人数
5月25日（土）	館内説明、監視員業務体験 等	3名（啓北中第2学年）

【博物館実習】

学芸員資格取得を目指す学生を受け入れ、子ども向け普及事業への参加などを通じて、単位取得のみならず、美術館への理解を深めてもらうことを目的として行った。（実習生はレポート選考で決定）

月 日	内 容	参加人数
8月8日（火） ～8月12日（土）	作品取り扱い実習、教育普及事業準備、資料整理 等	2名（青山学院大学、北海道教育大学岩見沢校）

【「卒業制作発表」における講評】

北海道おといねっぷ美術工芸高等学校より依頼を受けて、卒業制作発表に対して講評した。

月 日	内 容	講評人数
1月25日（月）	北海道おといねっぷ美術工芸高等学校卒業制作発表会に出席し、美術コース19名の卒業制作を実見、講評した。	19名

2-C-2 資料・情報関係

(1) 特別観覧

当館所蔵の作品や写真資料等について、印刷物掲載やインターネット上の公開等を目的にした撮影や写真又は画像データの借用希望等、並びに研究目的の熟覧希望等に対し特別観覧として対応した。

(令和7年3月31日現在。単位は件)

	撮影	模写	熟覧	写真原板 使用	デジタル データ	掲載承諾	合計
研究	1		2		1		4
展示			1				1
出版				1	1		2
放送	1						1
上映							0
配信							0
合計	2	0	3	1	2	0	8

(うち重複3件)

主な申請者

撮影／国内外個人研究者

熟覧／国内外個人研究者、本郷新記念札幌彫刻美術館

写真原板又はデジタルデータの使用／北海道医療新聞社

(2) ウェブサイト

ホームページにおける情報提供を行った。

令和6年度の年間アクセス件数（令和7年3月31日現在）：223,017件

(3) ソーシャルメディア

ソーシャルメディア（X、Instagram）を活用して逐次的な情報提供と広報活動に取り組んだ。

Xへの投稿数：138回 Xのフォロワー数 令和7年3月31日現在：6,500名

Instagramへの投稿数：82回 Instagramのフォロワー数 令和7年3月31日現在：218名

(4) リモートミュージアム

動画により令和6年12月3日～令和7年3月16日まで開催した「追悼 彫刻家・板津邦夫」展を紹介

2-D 調査研究

(1) 調査研究

【所蔵作家に関する調査】

特別展のための借用作品との関連性から所蔵作品の制作背景を改めて調査し、参考出品した。

特別展	参考出品した所蔵作品
日本の洋画 150年の輝き	上野山清貢 《燻製》
	秋田義一 《風景》
オプ・アート展	山口正城 《連結せざる構造による縦線に伴う横線》
	山口正城 《連結せざる構造による横線に伴う縦線》
	山口正城 《無題》
	山口正城 《習作》

【館報「水華」の発行】

令和6年度の事業報告や「道北の美術」に関わる作家のインタビュー、修復報告などを掲載した。

『水華No. 67』 (A4判縦 針金中綴じ 2穴 全8頁) 1,100部 令和7年3月11日発行

- ・活動報告 「多様な主体と手を繋ぐ」
- ・道北の美術30 「高橋三加子氏」
- ・修復報告 「黒田辰秋 《神代櫻彫文飾棚》」

3 評価

R6年度 美術館評価調書

A 優れた作品の収集と適切な保管

旭川美術館

【基本的運営方針】

旭川を中心とした道北地域にゆかりのあるすぐれた作品及び木を素材とした造形作品を系統的に収集、保存する。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [P L A N]	事業実施状況 [D O]
優れたコレクションの形成	<ul style="list-style-type: none"> ○第4期北海道立美術館等作品収蔵計画に基づき収集に取り組むものとし、作家や所蔵家と積極的に交流し、作品収集の機会を増やす。 ○文献調査や地域での情報収集に努め、収集計画の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇画家高橋三加子氏へのインタビューや個展調査等を通じて作家と交流を深めるとともに、所蔵家からの情報収集にも努めた。 ◇油彩1件、工芸1件を受贈した。
所蔵作品の適切な保管	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に作品の状態を把握し、作品の保存状況に合わせた適切な温度や湿度管理、虫害予防対策など収蔵庫の環境整備を行う。 ○修復候補作品一覧を完成させるとともに、長期的な修復計画の作成を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇委託業者と連携し、適切な温湿度を保つとともに、文化財害虫調査の場所を増やし館内全域の実態把握に努めた。 ◇所蔵品展での展示や館外への作品貸出に際して作品状態の点検・記録により所蔵作品の現状把握に努め、修復・保管方法改善候補作品一覧を完成させた。 ◇人間国宝黒田辰秋の作品1点を修復した。
コレクションの効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ○美術館のほか様々な分野の施設との連携により、所蔵作品の活用機会を増やすとともに変化に富んだ展示方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇旭川市科学館と連携し、それぞれの施設で相互の資料を展示した。 ◇当館利用者や旭川市民等を対象に、所蔵作品のうち思い入れのある作品を様々な媒体により募集し、これらを「みんなの推し☆コレクション」として展覧した。展示作品に対する応募者のコメントを併せて掲示するほか、展示できなかった作品はパワーポイントにより映像で紹介するなど特色ある展覧会づくりに努めた。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [P L A N]			評価 [C H E C K]					今後の対応方向 [A C T I O N]	
		前年度 実績	目標値(a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価			
			設定の考え方	成果・課題							
優れたコレクションの形成	収集方針に基づく収集活動〔定性〕	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ・収集方針「道北の美術」「木の造形」に基づく作品収藏を実現した。 【課題】 ・収蔵庫が飽和状態に近く、作品保管スペースが極めて不足。	【優れたコレクションの形成】 ○収集計画に基づき今後もコレクションの充実に努める。 ○計画的な収蔵によって限られたスペースを最大限活用するとともに、本庁関係課と連携しスペースの拡充を検討する。	
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率	100.0%	100.0%	全所蔵作品	100.0%	100.0%	①	a	【成果】 ・文化財害虫について、館内全域の発生状況を把握した。 ・修復・保管方法改善候補作品を把握した。 【課題】 ・老朽化による設備等の故障が頻発。 ・文化財害虫が多く発生する場所への重点的な対処。	【所蔵作品の適切な保管】 ○施設の日常点検を継続し、特に耐用年数を超過した設備に注意を払う。 ○作品の構造や重量、材質の強度を踏まえ、安全で適切な取扱を行う。 ○I P M（総合的有害生物管理）に基づく保存環境の整備、特に文化財害虫の発生の多い場所について改善に取り組む。 ○修復・保管方法改善候補作品一覧に基づき、修復を具体的に検討する。 【コレクションの効果的な活用】 ○オンラインアート教室において所蔵作品の活用を図る。 ○展示回数が少ない作品も展示する展覧会を企画する。	
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復〔定性〕	—	—	—	—	—	①				
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況〔定性〕	—	—	—	—	—	①	b	【成果】 ・従来とは異なる視点による企画、新たな連携先の開拓により活用の幅を広げた。 【課題】 ・展示回数が少ないコレクションを道民に見てもらう工夫。		

R6年度 美術館評価調書

B 多彩で特色ある展示活動の充実

旭川美術館

【基本的運営方針】

当館の所蔵品及び国内外のすぐれた作品をさまざまな角度から紹介する展覧会を企画・実施する。また、他の道立美術館との連携のもとにその所蔵品を紹介する。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [P L A N]	事業実施状況 [D O]
多様なニーズに応える展覧会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○木の造形作品及び道北地方や北海道にゆかりのある作家・作品について調査研究し、その研究結果に基づいた企画展を開催するとともに、所蔵する木彫作品を紹介するなど、その魅力の普及に取り組む。 ○多様なニーズに対応するため、様々な時代や地域の優れた作品を対象とした展覧会を開催する。 ○当館に愛着を持っていただくよう道民参画型の展示活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇所蔵作品について調査研究し、特別展に関連した所蔵品展を企画した。抽象作品や写実作品などバラエティ豊かな作品を各所蔵作品展で展示し、また、木彫作家・板津邦夫の展示も行った。 ◇幕末から現代に至る日本洋画の展示や本道を代表する木彫作家・藤戸竹喜の作品、さらには現代美術など幅広い分野の芸術作品を対象とした特別展を開催した。 ◇当館利用者や旭川市民等を対象に、所蔵作品のうち思い入れのある作品を様々な媒体により募集し、これらを「みんなの推し☆コレクション」として展覧した。
観覧者拡充のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○若年層が美術館に興味を持つよう展覧会に関連した子ども向けワークショップを実施する。 ○SNSを活用し、幅広い世代への広報活動に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇小学生低学年を対象とした絵本作りや小学中・高学年を対象とした木工体験、小学生以上を対象とした陶芸のワークショップ、幅広い年齢を対象とした錯覚体験ワークショップを実施した。 ◇広報強化のためにInstagramの投稿件数を令和5年度の111件から220件に増やした。
館外における鑑賞機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い地域における当館所蔵品の鑑賞機会を増やすため、積極的に他美術館への所蔵品の貸出を行う。 ○オンラインアート教室のさらなる魅力化をはじめ、多くの学校が参加できる工夫を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇京都国立近代美術館等へ黒田辰秋《神代櫻彫文飾棚》を貸し出した。 ◇オンラインアート教室では、展覧会の内容と連携したテーマを設定した。また、小中学校の学習指導要領に沿った内容にするなど学校が授業に活用しやすいよう工夫した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [P L A N]		評価 [C H E C K]					今後の対応方向 [A C T I O N]
		前年度 実績	目標値(a) 設定の考え方	実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価	成果・課題	
多様なニーズに応える展覧会の開催	展覧会の観覧者数（※展覧会毎の内訳は下表のとおり）	47,343人	40,979人 年間計画による	39,727人	96.9%	②	b	<p>【成果】 ・昨年度よりも観覧者の満足度を高めた。</p> <p>【課題】 ・多様なニーズに応えることと、収集方針と結びついた当館独自の企画とのバランスをとる。</p>	B
	観覧者の満足度	88.9%	98.4% 過去5年間の最高値	89.9%	91.4%	②			
観覧者拡充のための工夫	観覧者に占めるリピーターの割合	61.3%	67.2% 過去5年間の平均値	73.2%	108.9%	①	a	<p>【成果】 ・昨年度より観覧者に占める児童生徒の割合を高めた。 ・Instagramのフォロワー数が1年間に172人から255人となり、40%以上増加した。</p> <p>【課題】 ・幅広い年齢層が楽しめるような事業の企画・実施。 ・SNSのフォロワー数増加が、来館者数増加に結びついていない。</p>	B
	観覧者に占める児童生徒の割合	5.1%	7.2% 年間計画による	9.1%	125.0%	①			
	展示の企画構成やPR等の工夫〔定性〕	—	—	—	—	①			
館外における鑑賞機会の提供	館外における展示活動の状況〔定性〕	—	—	—	—	①	b	<p>【成果】 ・所蔵品を道外で見てもらえたとともに、研究者による新知見を得た。 ・オンラインアート教室への希望校が昨年度2校から4校に増加。</p> <p>【課題】 ・オンラインアート教室参加校との間で、必要な事前準備について共有不足があった。</p>	

R 6年度 美術館評価調書

C 学習の場と情報提供の充実

旭川美術館

【基本的運営方針】

講演会、講座、解説、教員のための鑑賞研修、子ども向け事業等の教育普及活動及び美術に関する情報提供等の事業を推進し、地域の美術文化の振興に取り組む。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [P L A N]	事業実施状況 [D O]
教育普及活動の充実	○教育効果を高めるため、展覧会と関連したプログラムを実施する。 ○幅広い世代への普及に取り組み、特に高齢者向け教育普及プログラムを研究・企画する。	◇「アートのなかの朝・昼・夜」展において時間の移ろいをテーマとした絵本作り、「オブ・アート展」において錯覚体験ワークショップや美術史講座など展覧会内容と関連付けたプログラムを企画・実施した。 ◇旭川市立大学と協力し、高齢者も含めた成人向けの対話型鑑賞について研究を進めた。
情報提供の充実	○展覧会と関連した書籍の配架方法を工夫するなど図書コーナーの充実を図る。 ○様々な広報媒体を活用し、情報発信に努める。 ○投稿回数を増やすなど、SNSを積極的に活用する。	◇図書コーナーと隣接するロビーにおいて作家の制作風景を収めた映像を上映するなど、図書コーナーを広く来館者に利用してもらえるよう工夫した。 ◇各展覧会の広報に際しては、地元ケーブルテレビやラジオ、地方紙など様々な広報媒体を活用した。 ◇広報強化のためにInstagramの投稿件数を令和5年度の111件から220件に増やした。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [P L A N]			評価 [C H E C K]					今後の対応方向 [A C T I O N]	
		前年度実績	目標値(a)		実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価			
			設定の考え方	実績値(b)				成果・課題	総合評価		
教育普及活動の充実	教育普及プログラムの実施件数	77件	85件	過去5年間の最高値	64件	72.9%	④	c	【成果】 ・展覧会に関連した事業の企画・実施により、展示内容への興味関心を高めることができた。 ・成人向け対話型鑑賞の方法について検討を深めた。 【課題】 ・事業への参加人数を増やす。 ・対話型鑑賞の今後の実施には、当館側の体制が未整備。	【教育普及活動の充実】 ○展覧会に関連した事業の企画・実施にあたり、対象となる年齢層の幅の拡張を検討する。 ○成人向け対話型鑑賞の実施に向けた体制づくりを検討する。 【情報提供の充実】 ○コレクション・データベースの更新と公開を行う。 ○展覧会紹介動画「北海道リモート・ミュージアム」の新規コンテンツを作成し、インターネット上に公開する。 ○当館のSNSのさらなる周知に取り組むとともに、継続的に投稿する。 ○より多くのメディアが取り上げてくれるよう、記者への働きかけなどに工夫する。 ○引き続き、図書コーナーの充実に取り組む。	
	教育普及プログラムの参加者数	2,124人	2,653人	過去5年間の最高値	1,847人	66.2%	④				
	教育普及プログラムの企画・実施状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				
情報提供の充実	A R S、図書コーナーの利用件数	7,054件	7,054件	過去5年間の最高値	8,219件	116.5%	①	b	【成果】 ・図書コーナーの利用者数が、過去5年間で最大となった。 ・Instagramのフォロワー数が1年間で172人から255人となり、40%以上増加した。 【課題】 ・記事に取り上げてくれるメディアが一部に限られている。	【情報提供の充実】 ○コレクション・データベースの更新と公開を行う。 ○展覧会紹介動画「北海道リモート・ミュージアム」の新規コンテンツを作成し、インターネット上に公開する。 ○当館のSNSのさらなる周知に取り組むとともに、継続的に投稿する。 ○より多くのメディアが取り上げてくれるよう、記者への働きかけなどに工夫する。 ○引き続き、図書コーナーの充実に取り組む。	
	利用しやすい図書・資料コーナーの整備	—	—	—	—	—	①				
	H Pアクセス件数	237,439件	276,000件	過去5年間の最高値	223,017件	80.8%	③				
	S N Sの投稿数	111件	120件	過去5年間の最高値	220件	183.3%	①				
	リモートミュージアムの公開件数	1件	1件	年間計画による	1件	100.0%	①				
	情報発信の工夫改善 [定性]	—	—	—	—	—	①				

R6年度 美術館評価調書

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

旭川美術館

【基本的運営方針】

主として「道北の美術」及び「木の造形作品」についての調査研究を行う。また、美術館活動についての研究を行う。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [P L A N]	事業実施状況 [D O]
調査・研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○館報の内容充実や図書資料の充実に取り組む。 ○学芸員の資質向上のため、研修機会の拡充に努める。 ○所蔵作品の研究結果を生かした展覧会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇館報「氷華」に所蔵作家インタビューや所蔵作品の修復について記事を掲載するなど、内容の充実に取り組んだ。また、所蔵作家に係る図書等の二次資料の充実に努めた。 ◇対話型鑑賞に係る研修や絵本作家の講演等に積極的に参加した。学芸員1名が、道立近代美術館で作品取扱と展示の研修を受けた。 ◇特別展のための借用作品との関連性から所蔵作品の制作背景を改めて調べ、特別展に参考出品するなど、新たな視点から所蔵作家に関する調査を行った。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [P L A N]		評価 [C H E C K]						今後の対応方向 [A C T I O N]
		前年度 実績	目標値(a) 設定の考え方	実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価 (※定量指標がないため最高評価は b)	成果・課題	総合評価	
調査・研究の推進	学芸員による調査・研究の報告や発表の状況 [定性]	—	—	—	—	①	b	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな視点から所蔵作家・作品に関する知見を深めた。 ・研修によって学芸員の知見を広げた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締切が明確な展覧会や事業を優先せざるを得ないため、調査・研究や研修が後回しになりがちである。 	B	<p>[調査・研究の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○諸業務の合理化、研究テーマから展覧会を企画、図書館資料の計画的な収集等を視野に入れ、調査・研究の比重増加に取り組む。 ○研修の情報収集と旅費の計画的な執行等に工夫し、学芸員の研修機会の拡充に取り組む。 ○館報により学芸員の研究の成果を発表する。
	学芸員の研修等の状況 [定性]	—	—	—	—	①				

R6年度 美術館評価調書

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

旭川美術館

【基本的運営方針】

地域の他の美術館、博物館等との連携を図り、地域文化の活性化に取り組む。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [P L A N]	事業実施状況 [D O]
多様な機関との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> ○市民実行委員会やマスコミ等との展覧会や関連事業の開催について、内容及び広報の充実に取り組む。 ○来館者サービスをより一層向上させるため、美術館ボランティアとの連携をさらに深める。 ○旭川リンク・リンク・ミュージアムなど、地域の美術館や博物館などを結ぶ連携制度等を継続する。 ○年間を通じ「旭川市中央図書館・北海道立旭川美術館コラボレーション2024」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇実行委員会展に際しては、お茶会やトークイベントなど特色ある関連事業を実施し、様々な広報媒体による情報発信するとともに、展覧会テーマに関連する機関（川村カ子トアイヌ記念館、旭川市科学館）と連携し、広報活動を行った。 ◇旭川美術館を舞台としたBS12トゥエルビによる旅番組制作に協力した。 ◇ボランティアが運営する売店の照明を改善するなど環境整備を行い、また、普段から積極的に声かけをし情報共有を図るほか、随時、事業担当者とボランティアが打合せを行った。 ◇旭川リンク・リンク・ミュージアムやリビータ割引などの割引制度を継続的に継続するとともに、HP掲載や受付での普及活動を行った。 ◇旭川市中央図書館との連携事業の一環として、図書館司書を講師に迎えたワークショップを行った。また、おといねっぷ美術工芸高校の協力を得て、「写実」という共通テーマのもと双方で作品を展示し、各機関の魅力をより発信できる事業を実施した。
学校等の教育機関との連携・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度から実施しているおといねっぷ美術工芸高校卒業制作発表における講評に加え、旭川市立図書館との連携の一環として、同校生徒の作品を図書館へ展示する際の展示方法の助言など美術活動への支援を行う。 ○オンラインアート教室の内容の充実を図るとともに、多くの学校が参加できる工夫を検討する。 ○キャンパス・パートナーシップの対象となる学校に向け制度を改めて周知する。 ○展覧会ごとに教員を対象とした指導者研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇おといねっぷ美術工芸高校の卒業制作発表講評や図書館での作品展示への助言等を行い、美術活動の支援を行った。 ◇旭川工業高校の生徒を講師に招き、子ども対象の木工ワークショップを実施した。 ◇オンラインアート教室では、展覧会の内容と連携したテーマを設定した。また、小中学校の学習指導要領に沿った内容にするなど学校が授業に活用できるよう工夫した。 ◇事業で関わるのある大学に、改めてキャンパス・パートナーシップ制度の内容について周知した。 ◇年間を通して教員対象の鑑賞研修を実施した（本府連携事業1回、旭川美術館独自事業3回）。これまで管内対象としていたが、全国教員研修プラットフォームを活用し、道内全域の教員を対象とした。 ◇H20に北海道教育大学旭川校、上川旭川美術部連携協議会及び中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館と連携し立ち上げた「旭川地域連携アートプロジェクト」（A A P）において、大学生をファシリテーターとした中学生の対話型鑑賞を実施した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [P L A N]			評価 [C H E C K]					今後の対応方向 [A C T I O N]	
		前年度 実績	目標値(a)		実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の 判定	項目評価			
			設定の考え方	成果				成果・課題	総合評価		
多様な機関との連携・協力	地域の団体やイベント等と連携した取組の状況〔定性〕	-	-	-	-	-	①	b	【成果】 ・実行委員会を組むことによって、当館単独主催よりも規模の大きい展覧会と、手厚い広報を行うことができた。 ・展覧会テーマに関する機関との連携やTV番組への協力により、PR活動の幅を広げた。 ・ボランティアと協力し、喫茶や売店において事故なく運営することができた。 ・図書館との連携により、社会教育機関同士のネットワークを強化した。 【課題】 ・連携には持続性が望ましいが、反面、連携相手が固定化しがちである。また、単発の連携・協力から発展しない場合もある。	B	
	企業や団体等と連携したPR活動〔定性〕	-	-	-	-	-	①				
	道内美術館等との連携・協力の状況〔定性〕	-	-	-	-	-	①				
	ボランティアとの連携・協力の状況〔定性〕	-	-	-	-	-	①				
学校等の教育機関との連携・支援	学校教育と連携した取組の状況〔定性〕	-	-	-	-	-	①	c	【成果】 ・高校生にとって、発表したり年少者に教えたりする機会を得たのは有意義なことと考える。 ・オンラインアート教室への希望校が、昨年度2校から4校に増加。 ・教員を対象とする鑑賞研修に、管外から1名の参加を得た。 【課題】 ・オンラインアート教室参加校との間で、必要な事前準備について共有不足であった。 ・キャンパス・パートナーシップのメンバー校を得ることができなかつた。	B	
	児童生徒向け鑑賞教室（オンラインを含む）の実施件数	2件	2件	年間計画による	4件	200.0%	①				
	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	1校	1校	過去5年間の平均値	0校	0.0%	④				
	教員を対象とした研修の実施状況〔定性〕	-	-	-	-	-	①				

R6年度 美術館評価調書

F 安全で快適な滞在環境の提供

旭川美術館

【基本的運営方針】

美術鑑賞にふさわしく落ち着いた文化的環境を維持・提供する。

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
施設の適切な維持管理	○日常点検や巡回などを行い、施設の状況を常に確認・把握する。 ○設備等の故障等が生じた場合、本庁担当課と速やかな修繕に向け協議する。	◇日常点検や巡回などを継続的に行うことで、施設・設備の不具合などを速やかに把握した。 ◇施設・設備の不具合（玄関スロープ・手すりの補修、空調設備部品の交換等）について、速やかに本庁担当課に報告・予算申請をし、適切に修繕等を行った。
施設の快適性の向上	○喫茶、ミュージアムショップを運営するボランティア団体と連携を密にし協力することで、質の高い利用者サービス提供する。 ○館内スタッフが来館者アンケートを共有するとともに、随時、反省会を実施する。	◇ボランティア団体にも職員と同様にアンケート内容を共有するなど、より一層の利用者サービスの向上に努めた。 ◇来館者アンケートに記載された情報については、速やかに職員間で共有し改善等の対応をした。 ◇アンケート回収率増を目指し、用紙の配置工夫のほか、電子申請システムによる回答方式を導入した。 ◇展覧会閉会後、職員による反省会を実施し、次回以降の展覧会にアンケート意見を活かせるか検討した。

【目標値の設定・評価】

取組項目	評価指標	目標値の設定 [PLAN]			評価 [CHECK]					今後の対応方向 [ACTION]	
		前年度実績	目標値(a) 設定の考え方	実績値(b)	達成率(b/a)	指標の判定	項目評価	成果・課題	総合評価		
施設の適切な維持管理	施設の安全性確保のための必要な措置の状況 [定性]	—	—	—	—	①	b	【成果】 ・来館者が安心して観覧できる環境を維持した。 【課題】 ・老朽化による設備等の故障が頻発。	B	【施設の適切な維持管理】 ○引き続き、日常の点検・管理を行うとともに、耐用年数を超えた設備の更新等について検討する。	
	誰もが安心して利用できる施設設備の状況 [定性]	—	—	—	—	①					
施設の快適性の向上	鑑賞環境に対する満足度	92.4%	97.6%	過去5年間の最高値	91.9%	94.2%	②	c	【成果】 ・ボランティアと協力し、喫茶や売店において事故なく運営することができた。 ・アンケート回収率が前年度の1.7%から3.2%に上昇した。アンケートに基づいて、特別展の休憩スペースを1箇所から2箇所に増やした。 【課題】 ・アンケート回収率が上昇したとはいえ、いまだ低いといわざるを得ない。	B	【施設の快適性の向上】 ○引き続きボランティアと協力する。 ○アンケート回収率の向上に向けた工夫を検討する。 ○アンケートを活用してホスピタリティ向上を図る。
	レストラン・喫茶に対する満足度	61.5%	73.6%	過去5年間の最高値	72.7%	98.8%	②				
	ミュージアムショップに対する満足度	66.0%	79.0%	過去5年間の最高値	71.4%	90.4%	②				
	ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	②				
	館内スタッフの対応に対する利用者満足度	89.9%	96.0%	過去5年間の最高値	89.1%	92.8%	②				
	ホスピタリティ向上に向けた取組の状況 [定性]	—	—	—	—	—	①				

4 予算・名簿

【令和6年度予算額】

(単位:千円)

教育総務費	335
美術館協議会運営費	235
事務局運営費	100
社会教育費	125,613
展覧会事業費	21,472
直接支払分	16,172
負担金	5,300
教育普及活動費	90
調査研究資料収集費	319
親子ふれあい芸術体験事業費	44
維持運営費	103,109
事業運営費	579
合計	125,948

【北海道立旭川美術館協議会委員名簿】(令和7年3月31日現在)

区分	氏名	性別	所属団体等(任用時)	新任・再任の別
学校教育関係者	中村 欣也	男	当麻町教育委員会	再任
	浅野 智子	女	旭川市立豊岡小学校	再任
	◎伊東 義晃	男	上川教育研修センター	再任
社会教育関係者	両瀬 渉	男	上川管内社会教育委員連絡協議会	再任
	阿部 ひろみ	女	旭川美術館ボランティア常磐会	新任
	奥野 由貴子	女	朔北美術協会	新任
	岸本 恵理加	女	画家	新任
学識経験者	○大石 朋生	男	北海道教育大学	再任
	村中 一徳	男	比布町	再任
家庭教育向上活動者	菅原 達朗	男	旭川市PTA連合会	新任
公募	沓澤 章俊	女	公募	新任
	宮田 琴羽	女	公募	新任

◎会長 ○副会長 任期:令和6年6月10日から令和8年6月9日まで

【北海道立旭川美術館職員名簿】(令和6年4月1日現在)

職名	氏名	発令年月日
館長(非常勤)	野上 義秀	令和5年4月1日
副館長兼総務課長	中山 雅博	令和6年4月1日
主査	山岸 由記	令和5年5月1日
主事	岩田 将平	令和6年4月1日
学芸課長	藤原 乃里子	令和5年4月1日
学芸員	寺地 亜衣	令和5年4月1日
学芸員	津田 しおり	令和4年4月1日
主事(非常勤)	野澤 陽子	平成元年4月1日
主事(非常勤)	成田 孝子	平成4年11月1日
主事(非常勤)	佐野 裕美	平成10年4月1日
主事(非常勤)	上野 由記子	平成12年4月1日

5 沿革

- 1977(昭和52)年 7月 北海道発展計画(昭和53~62年)で公立美術館設置計画を策定
- 1979(昭和54)年 7月 道立地方美術館設置調査費を計上、道立地方美術館建設検討会発足
9月 道立地方美術館設置専門家会議発足
10月 北海道文化振興審議会に道立地方美術館設置構想を報告
11月 道立地方美術館設置基本構想を策定、第1号館を旭川市に内定
- 1980(昭和55)年 3月 道立旭川美術館(仮称)設計 建築費を計上
6月 道立旭川美術館(仮称)建築基本設計完了
8月 道立旭川美術館(仮称)建築実施設計完了
10月 道立旭川美術館(仮称)工事着工(10/17)
- 1981(昭和56)年 12月 道立旭川美術館(仮称)工事竣工(12/7 2,558m²)
- 1982(昭和57)年 4月 北海道立美術館条例の一部改正(4/5 条例第17号)により、「北海道立旭川美術館」を設置
初代館長 秋山操
7月 美術館落成式・開館記念式典、一般公開(7/24)
- 1987(昭和62)年 6月 2代目館長 磯部保
7月 開館5周年記念(7/24)
- 1990(平成2)年 3月 第2収蔵庫増築工事竣工(154m²)
9月 観覧者50万人(9/20)
- 1992(平成4)年 4月 3代目館長 高橋洋
11月 常設展示室工事竣工(241m²)
開館10周年記念式典、常設展示室落成式、常設展示室一般公開(11/13)
- 1996(平成8)年 4月 4代目館長 飯島修
所蔵品展及び常設展の小・中・高校生の無料化実施
- 1998(平成10)年 8月 観覧者100万人達成(8/12)
- 2000(平成12)年 4月 5代目館長 佐藤武
- 2002(平成14)年 10月 開館20周年記念式典(10/26)
- 2004(平成16)年 4月 所蔵品展及び常設展の高校生有料化、ただし土曜日並びにこどもの日及び文化の日は無料
- 2006(平成18)年 4月 6代目館長 金丸浩一
7月 観覧者150万人達成(7/28)
- 2012(平成24)年 4月 7代目館長 菅沼肇
11月 観覧者200万人達成 (11/2)
開館30周年記念式典 (11/16)
- 2018(平成30)年 4月 8代目館長 梶浦仁
- 2022(令和4)年 7月 開館40周年記念(7/24)
- 2023(令和5)年 4月 9代目館長 野上義秀
8月 観覧者250万人達成(8/16)

6 建築設備概要

■建築概要

位 置	旭川市常磐公園内
基 本 設 計	田上+北海道日建、建設共同企業体
実 施 設 計	田上+北海道日建、建設共同企業体
工 事 施 工	伊藤・盛永共同企業体
総 工 費	12億6千162万9千円
工 期	起工 昭和55年10月17日 竣工 昭和56年12月7日
敷 地 面 積	4,320m ²
建 築 面 積	3,127m ²
構 造 概 要	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
仕 上	外装: 外装 磁器タイル(3丁掛)張り 屋上 アスファルト防水のコンクリート コテ押工 内装: 床 磁器質タイル張り及び塩ビタイル張り (展示室 ゴムタイル張り) 壁 磁器タイル(ボーダ)張り、軽量鉄骨下地、石コウ ボードクロス張り 天井 岩綿吸音板張り(A E P)

■設備概要

[電気設備]		[機械設備]		
受 変 電 設 備	受電電圧 6KV 変圧器容量 450KVA	空 気 調 和 設 備	展示室 夏 冬	24°C±1°C 55%±3% 23°C±1°C 55%±3%
發 電 設 備	ディーゼル機関 59PS 3,000rpm 発電機 43KVA 3相交流	収蔵庫及び 展示ケース内		年間22°C±1°C 55%±3%
常 設 展 示 室	ディーゼル機関 42PS 3,000rpm 発電機 30KVA 3相交流	吸收式冷凍機		冷/302,720Kcal/hr
動 力 設 備	消防用電力 排煙機18.5KW1台 消化ポンプ7.5KW1台 一般用電力 合計233.1KW47台	チラー冷凍機	暖/252,840Kcal/hr 冷房専用時 冷/104,500kcal/hr	
常 設 展 示 室	消防用電力 排煙機7.5KW1台 一般用電力 合計286.35KW62台		冷暖房時 冷/91,200kcal/hr	
電 灯 設 備	特別展示室 直管LEDランプ 高演色形 Ra95 4,000ケルビン ロビー 埋込形LEDダウンライト Ra85 3,000ケルビン 常設展示室 直管LEDランプ 高演色形 Ra95 4,000ケルビン 講堂 埋込形蛍光灯器具 200~400ルクス	チラー冷凍機 冷房専用(空冷式) 低压蒸気ボイラ 空気調和器	95,000~106,000kcal/hr 643,000kcal/hr 特別展示室 1系統 常設展示室 1系統 第1収蔵庫 1系統	
電 話 設 備	釦電話機 自動式	第2収蔵庫	1系統	
放 送 設 備	壁掛け形防災アンプ 120W	展示ケース	1系統	
テ レ ビ 共 聴 設 備	U.Vアンテナ各1組、ユニット5個	講堂	1系統	
火 灾 報 知 設 備	P1級複合盤 50回路	ロビーホール	1系統	
視 聴 觉 設 備	16mm映写設備 スライド映写設備(テープ同調機構付) ビデオプロジェクター VTR編集設備 スライドボックス	給 水 設 備 消 火 設 備	市水道使用(飲用水、雑用水、消防用水) 屋内消火栓11ヵ所 ハロンガス消防設備(特別展示室、常設展示室 展示ケース、第1収蔵庫、第1収蔵庫前室、第2 収蔵庫)	

7 利用案内

■開館時間

9:30～17:00(入場は 16:30 まで)

■休館日

月曜日(祝日または振替休日の時は開館、翌火曜日が休館)、年末年始(12月 29 日～1月 3 日)、展示替期間等。

■アクセス

徒歩：JR 旭川駅から約 20 分。

バス：JR 旭川駅北側の 1 条通の 14 番バス停(1 条 8 丁目)から、3・24・33 番のバスに乗車。もよりのバス停は「4 条 4 丁目」(3・33 番)、徒歩 5 分。または「8 条西 1 丁目」(24 番)、徒歩 3 分。また、「常磐公園前」を経由するバスも利用可能。バス停から徒歩 7 分。

タクシー：JR 旭川駅前から約 10 分。

駐車場：常磐公園駐車場(市営／無料／9:00～17:00)利用可能。台数に限りあり。